IRプレゼンテーション

2018年3月

NTT

本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

※　本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。

Copyright©2018　日本電信電話株式会社

新たなステージをめざして　2.0

（2015年5月策定、2016年5月一部財務目標見直し）

「2.0」の基本的考え方

- **“バリューパートナー”への自己変革を加速し、利益成長軌道へ**
  - 「グローバル・クラウドサービス」の利益創出スピードを加速
  - 「ネットワークサービス」の収益力を強化
- **B2B2Xモデルを更に推進し新たな市場を開拓**
- **EPS成長目標を再設定 （400円以上* （2018/3期））**
  その他の財務目標をローリング

*2016年5月に「350円以上 → 400円以上」へ見直し

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

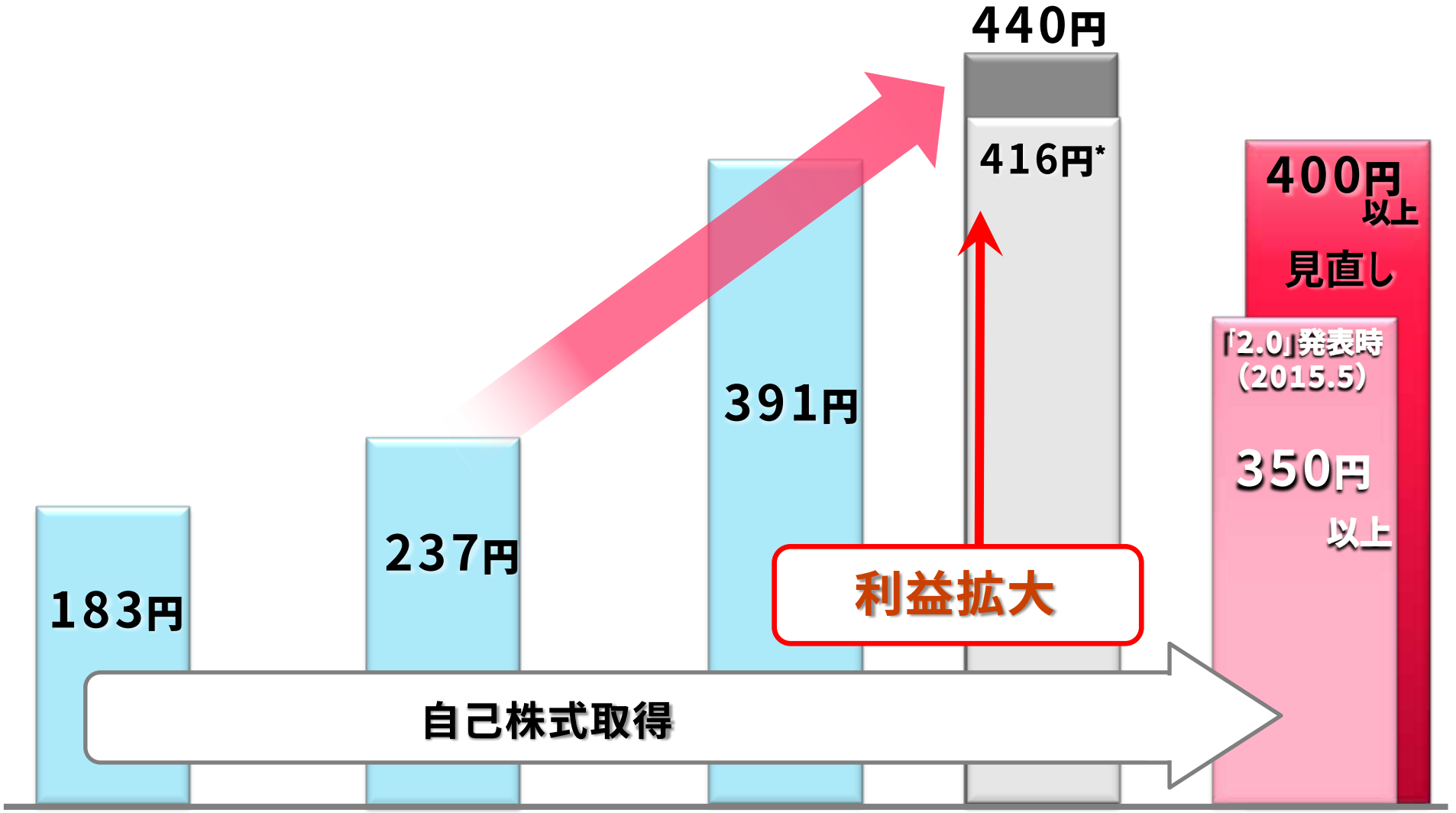
中期財務目標の進捗

	第3四半期実績（2018年3月期）	中期財務目標（2018年3月期）
設備投資の効率化（国内ネットワーク事業*1）[対2015年3月期]	▲1,414億円	▲2,000億円以上
コスト削減*2（固定/移動アクセス系）[対2015年3月期]	▲7,660億円	▲8,000億円以上
海外売上高 / 営業利益*3	$14.45B/$0.78B [通期業績予想]〔$19.6B/$1.2B〕	$22B/$1.5B
EPS成長	[通期業績予想] 440円*4 〔416円*5〕	400円以上

*1 コミュニケーションズのデータセンター等を除く
*2 減価償却方法の見直し影響を除く
*3 買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いた営業利益
*4 Tata Sons Limited からの仲裁裁定金受領及び自己株式取得（9月25日公表）影響を含む
*5 自己株式取得（9月25日公表）影響を含む

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

EPS成長

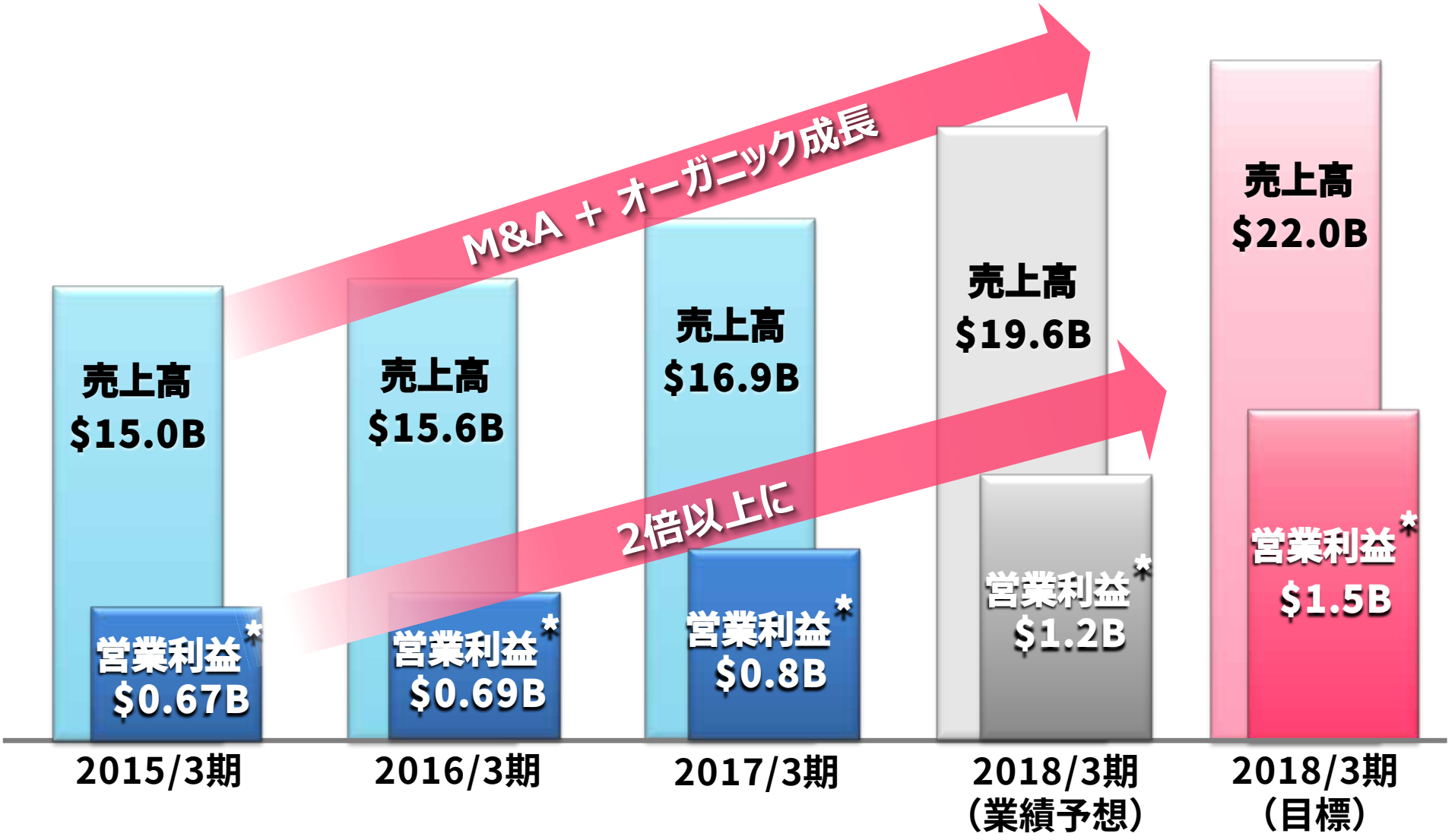


* Tata Sons Limitedからの仲裁裁定金受領影響を除く

** EPSは、2015/7/1を効力発生日とした株式分割後（普通株式1株を2株に分割）の値に調整

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

海外売上高/営業利益

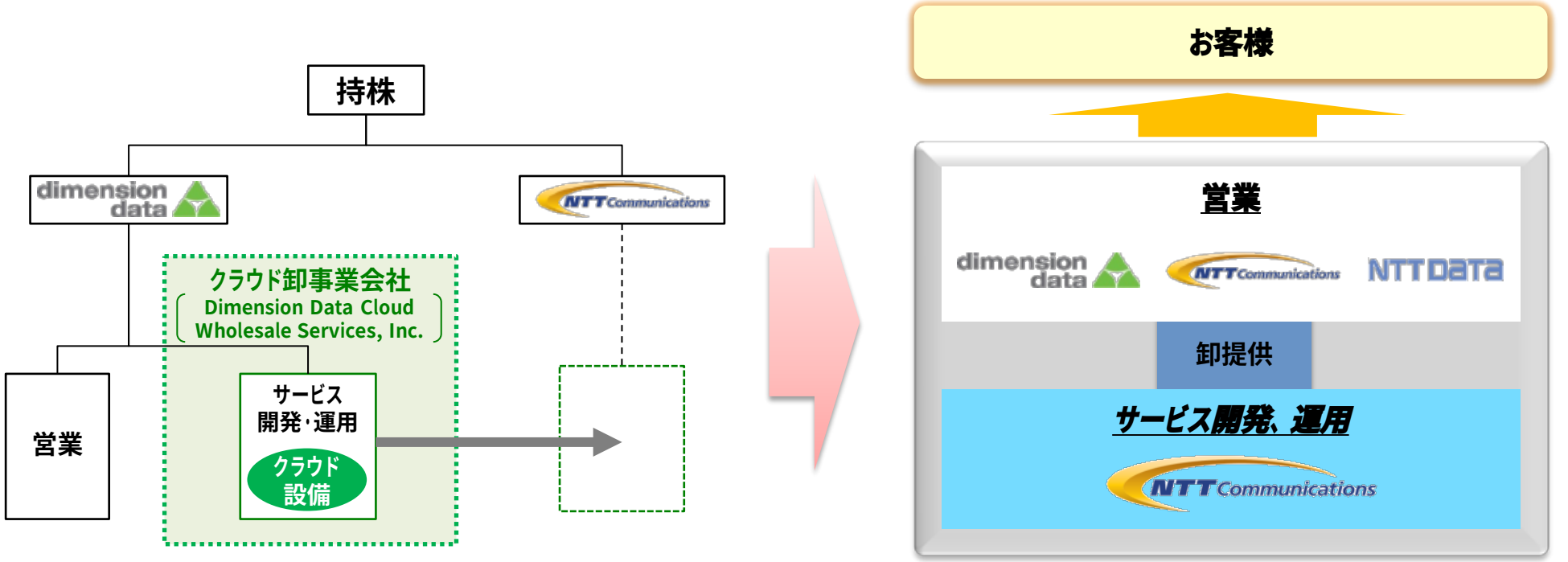


* 買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いた営業利益

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

グローバルビジネスの強化
（クラウドサービスの統合・強化）

- NTTコミュニケーションズとディメンションデータのクラウドサービスを統合して、開発の集約、競争力強化を図る
- ディメンションデータ配下にクラウド卸事業会社を設立、2018年3月末を目途に資産・人員などの移行に関する準備を実施した後、NTTコミュニケーションズ子会社として移管
- クラウドサービス開発・運用はNTTコミュニケーションズが一元的に担い、ディメンションデータをはじめグループ各社の営業力を最大限活用する

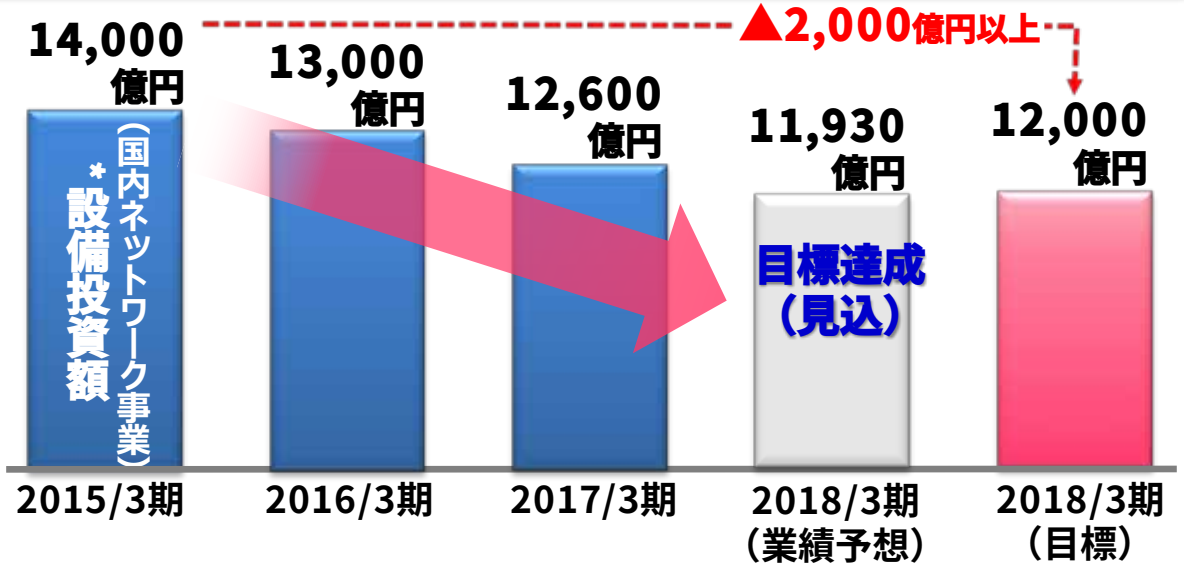


Copyright©2018 日本電信電話株式会社

国内ネットワーク事業の効率化

設備投資の効率化 ▲ 2,000億円以上（国内ネットワーク事業，対2015/3期）

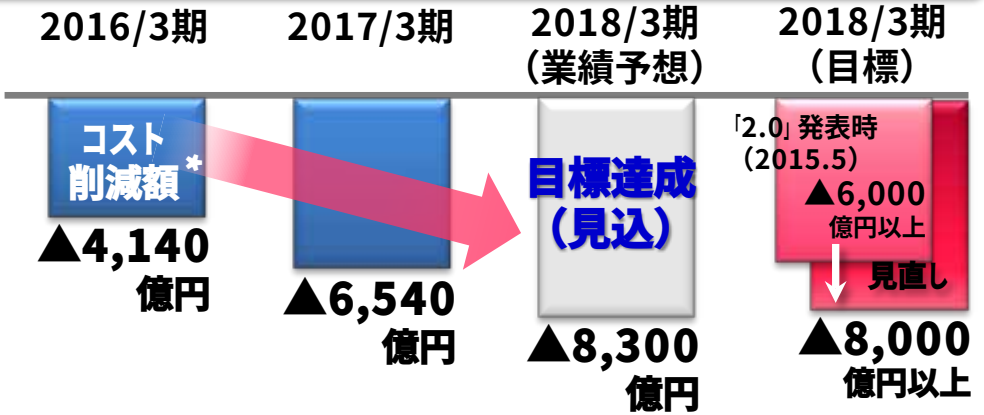
- 設備利用効率の向上
- 調達コストの削減
- ITシステムの高度化/効率化



* コミュニケーションズのデータセンター等を除く

コスト削減 ▲ 8,000億円以上（固定/移動アクセス系，対2015/3期）

- ユーザサービスの向上に向けたコストの見直し
- 今後の環境変化に応じたシンプルで高効率な業務運営の確立

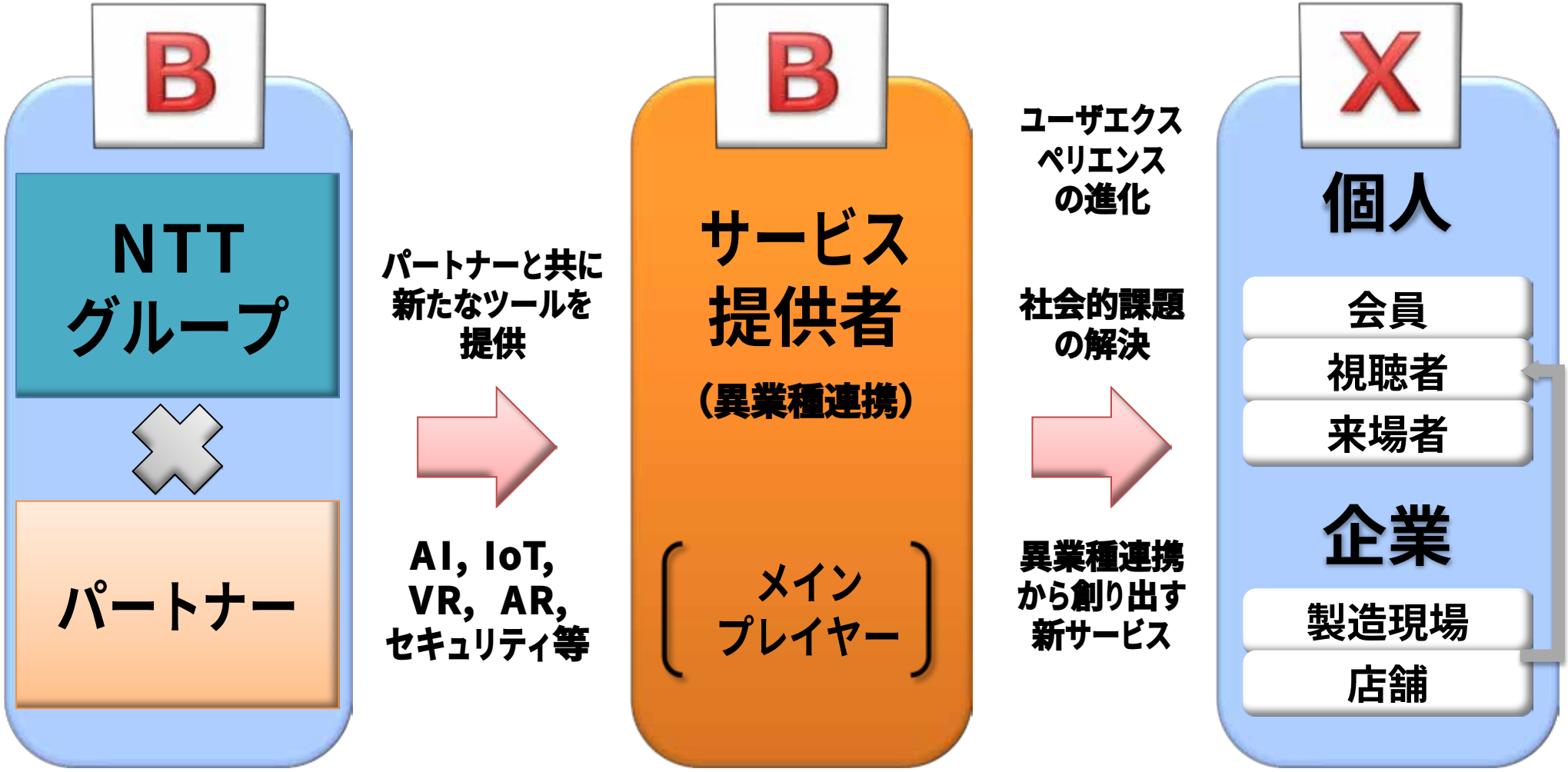


* 減価償却方法の見直し影響を除く

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

B2B2Xモデルへの取組みの狙い

- サービス提供者のビジネスモデル変革と、そこから創り出される付加価値によるサービス利用者のライフスタイル変革をサポートする。



Copyright©2018 日本電信電話株式会社

B2B2Xモデルへの主な取組み（2017年度上期）

エンタメ	松竹	4月 Kirari!を活用し、分身同士の立廻り等、新たな歌舞伎演出を提供
スポーツ	SYNDICATE DANDELION	4月 レース中のドライバーの極限生体情報を計測、パフォーマンスを可視化
スポーツ	ITU JTU ITU WORLD TRIATHLON YOKOHAMA	5月 選手の位置情報ライブトラッキング、配信による新たな観戦体験実証
都市	NIKKEN 日建設計総合研究所 三井不動産	6月 人流・気象等の都市ビッグデータとAIで都市の魅力向上
スポーツ	JLEAGUE (C)1992 K.A.FC	7月 新たな観戦体験をもたらす高密度Wi-Fiを活用したスマートスタジアム
航空	TIAT	8月 corevo®を活用し、空港の情報ユニバーサルデザインを高度化
自動車	TOYOTA DENSO / intel ERICSSON / トヨタIT開発センター	8月 コネクティッドカーの実現へ、コンソーシアム創設に向けた活動を開始
スポーツ	GAMBA / 吹田市 / Panasonic	9月 映像ネットサービスを活用し、高臨場感パブリックビューイングを実現
運輸	日本郵船 株式会社MTI	9月 船舶IoTにエッジコンピューティング等を適用し、運航最適化
ロボット	TOYOTA	9月 生活支援ロボットにcorevo®を活用し、対話によるイベント支援を実現
工場	JSR accenture	9月 corevo®により熟練工の技術を再現、次世代コンビナートスマート化

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

B2B2Xモデルへの主な取組み（2017年度3Q）

航空	ANA Combi TORAY	10月	hitoe®により赤ちゃんの状態を推定し、快適なフライトへ向けた実証開始 （「赤ちゃんが泣かない！？ヒコーキ」プロジェクトを立ち上げ）
製造	FANUC CISCO Rockwell Automation Preferred Networks	10月	エッジコンピューティング等を取り入れたFIELD systemの商用提供開始
自動車	NoMaps SAPPORO 群馬大学 GUNMA UNIVERSITY	10月	中心市街地の公道で自動走行を実施、札幌市の一層の発展と飛躍に貢献
農業	Kubota	10月	corevo®を活用した農業・水環境分野の省力化に向けた実証開始
エンタメ	松竹	11月	Kirari!を活用し、虚実共演伝送舞踊等新たな歌舞伎演出を提供 （先斗町と宮川町をつないだ「京結夢現連獅子」を開催）
スポーツ	JSA Japan Softball Association	11月	アスリートのパフォーマンスと脳情報処理の研究に向けた共同実験開始
観光	神戸大学 NIKKEN 日建設計総合研究所 KOBE UNESCO City of Design 神戸地下街株式会社 SOHATSU	11月	AIを活用した人流予測、最適機器制御技術を用いた空調制御の実証開始

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

2018年3月期第3四半期決算

2018年3月期第3四半期 連結決算の状況

- 増収・増益
- 年間計画に向けて順調な進捗

連結決算状況

Ø営業収益	：	8兆7,220億円	（対前年＋3,615億円〔＋4.3%〕）
Ø営業利益	：	1兆3,196億円	（対前年＋10億円〔＋0.1%〕）
Ø四半期（当期）純利益*1	：	7,366億円	（対前年＋679億円〔＋10.1%〕）
Ø海外売上高	：	144.5億ドル	（対前年＋22.6億ドル〔＋18.6%〕）
・クロスセル受注額	：	6.6億ドル	
Ø海外営業利益*2	：	7.8億ドル	（対前年＋2.4億ドル〔＋43.5%〕）

＊1　四半期（当期）純利益は、当社に帰属する四半期（当期）純利益（非支配持分帰属分控除後）を記載しております。

＊2　買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いた営業利益を記載しております。

Copyright©2018　日本電信電話株式会社

2018年3月期第3四半期　トピックス

ネットワークサービスの収益力強化

Øユーザ基盤の拡大

- モバイル契約数　：　7,568万　（純増 ＋80万）
  - （再）カケホーダイ＆パケあえる　：　4,060万　（純増＋353万）
- FTTH契約数　：　2,046万　（純増 ＋40万）
  - （再）コラボ光　：　1,066万　（純増＋191万）

ØWi-Fiエリアオーナー数の拡大*　：　681　（純増＋124 ）

＊　小規模飲食店等を除く、大手企業ユーザ・自治体の顧客数

Copyright©2018　日本電信電話株式会社

2018年3月期第3四半期　トピックス

B2B2Xモデルの推進

Ø新たな価値創造や社会的課題の解決に向け、スポーツ、交通・運輸、製造等の様々な分野において、デジタルトランスフォーメーションをサポートすることで、引き続き他社・自治体等との協業を拡大

グローバル・クラウドサービスの拡大

Ø米国ITマネージドサービス事業者Secure-24の買収

株主還元

Ø自己株式取得　：1,500億円の取得を完了（12月8日）

Ø2018年3月期自己株式取得累計額：1,932億円

「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」進捗

Ø使用済み携帯電話等累計回収台数（12月末時点）：約240万台

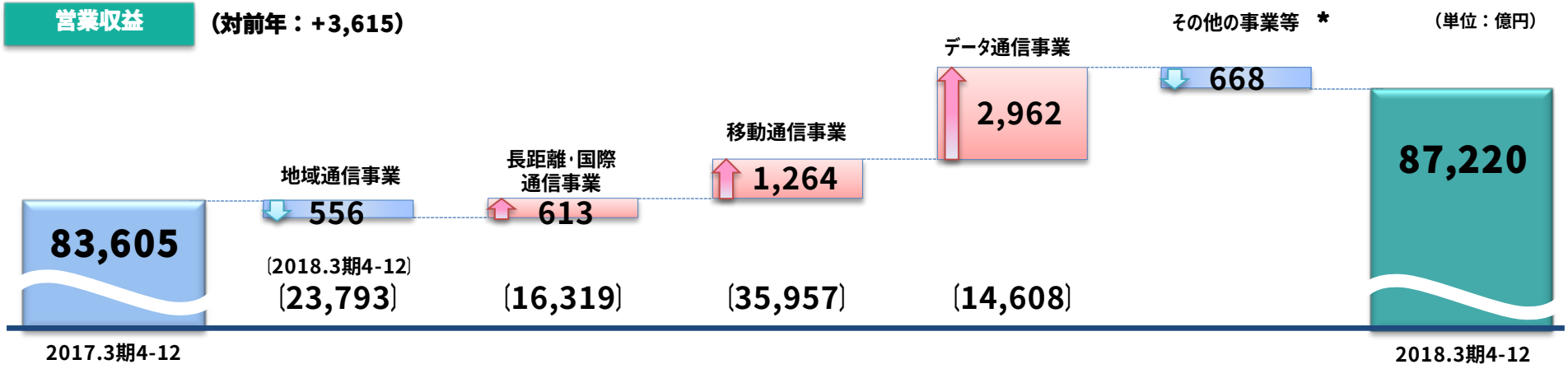
Copyright©2018　日本電信電話株式会社

2018年3月期第3四半期 セグメント別の状況

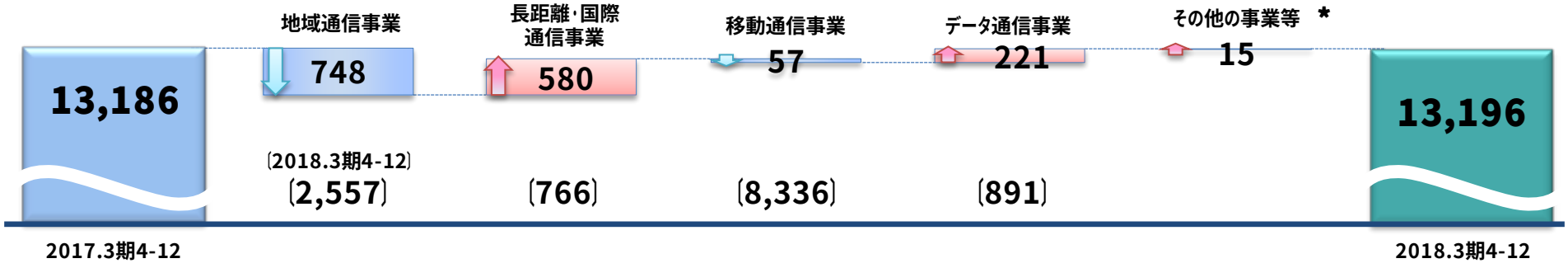
n　長距離・国際通信、データ通信セグメントで増収増益

営業収益　（対前年：+3,615）

（単位：億円）



営業利益　（対前年：+10）



＊セグメント間取引消去・その他を含む

Copyright©2018　日本電信電話株式会社

2018年3月期　通期業績予想

n　営業収益、営業利益は当初業績予想同

連結収支計画

	当初業績予想 (2017年5月15日公表)	通期業績予想 (2017年11月10日公表)
営業収益	11兆7,500億円	11兆7,500億円
営業利益	1兆5,900億円	1兆5,900億円
当期純利益*4	8,300億円	8,800億円*1 〔8,300億円〕
ＥＰＳ	414円	440円*2 〔416円*3〕

*1　Tata Sons Limited からの仲裁裁定金受領影響を含む
*2　Tata Sons Limited からの仲裁裁定金受領及び自己株式取得（9月25日公表）影響を含む
*3　自己株式取得（9月25日公表）影響を含む

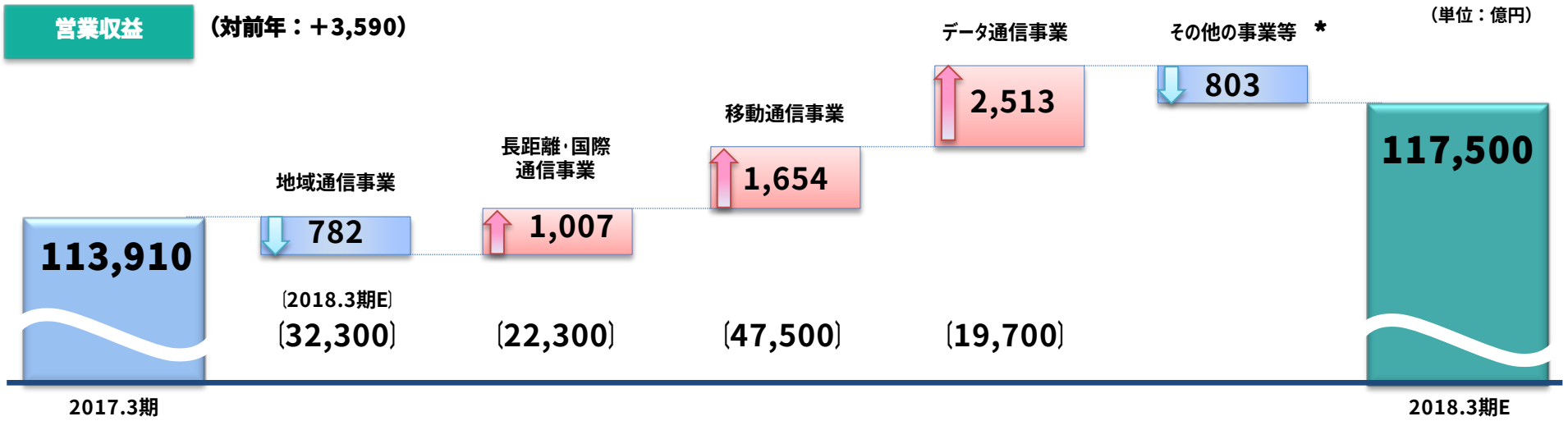
＊4　当期純利益は、当社に帰属する当期純利益（非支配持分帰属分控除後）を記載しております。

Copyright©2018　日本電信電話株式会社

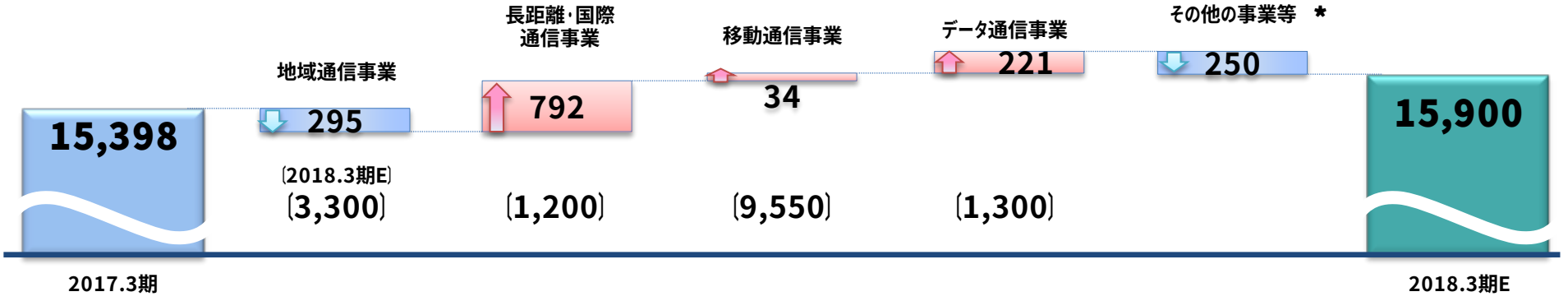
2018年3月期　セグメント別業績予想の概要

営業収益　（対前年：＋3,590）

（単位：億円）



営業利益　（対前年：＋ 502）

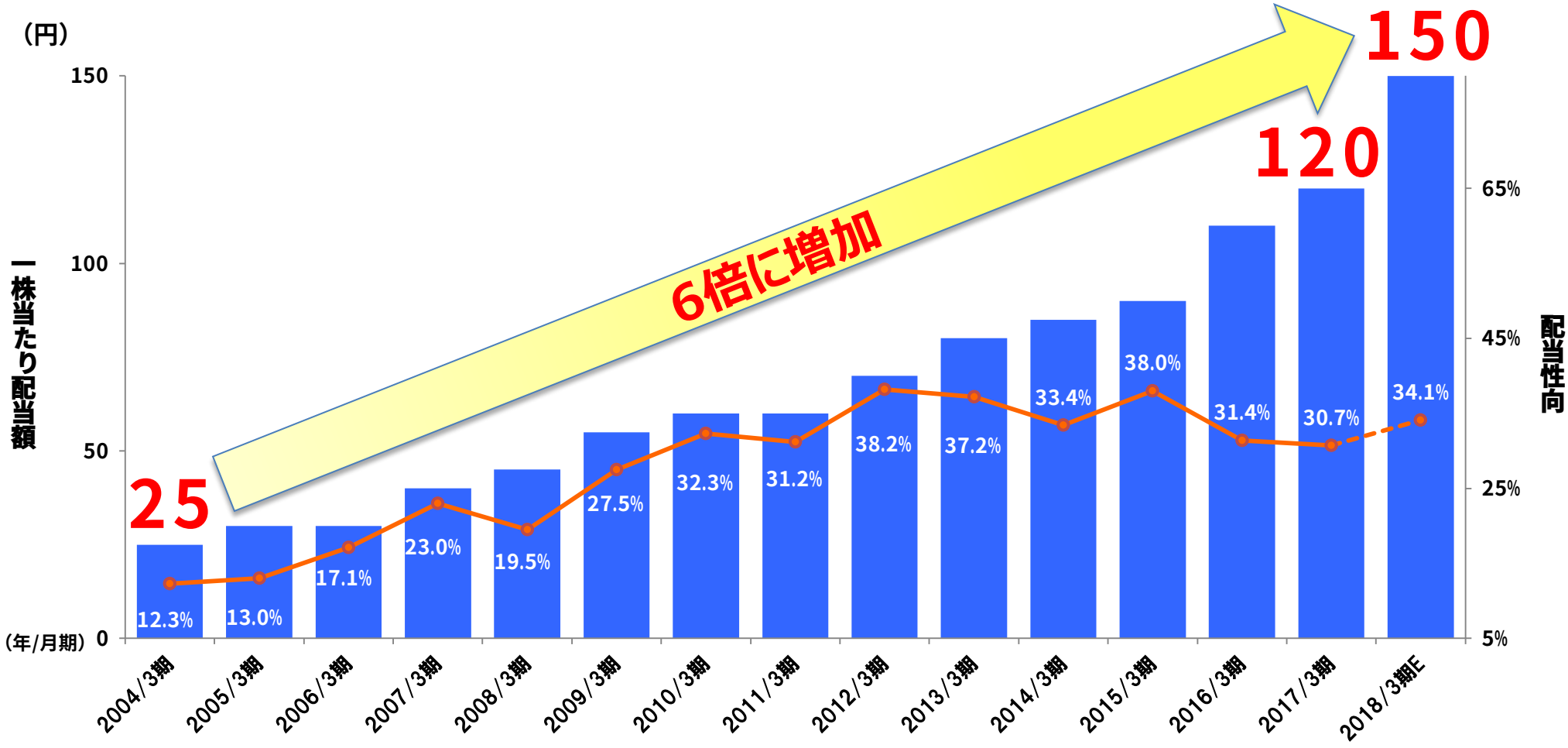


＊セグメント間取引消去・その他を含む

Copyright©2018　日本電信電話株式会社

Appendix

配当の推移

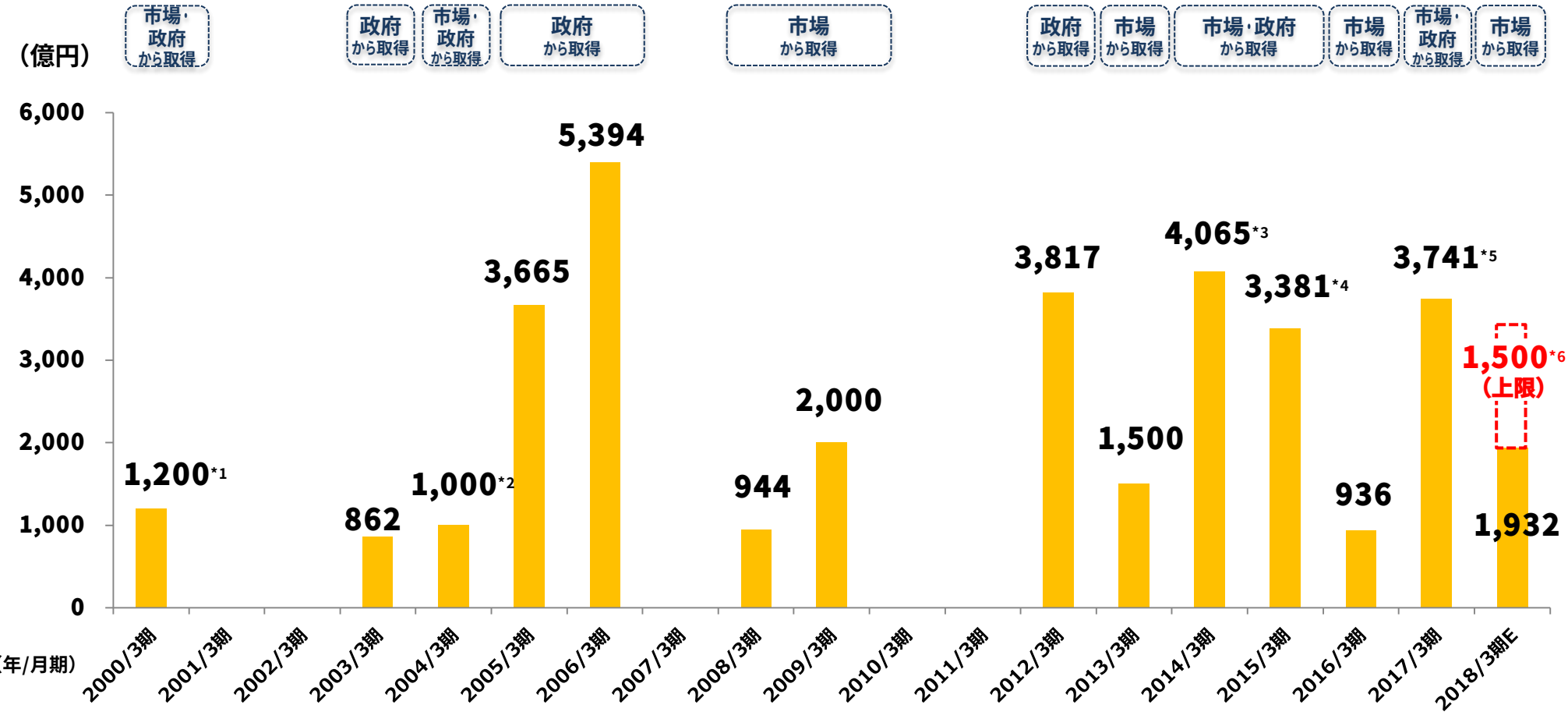


* 配当は、2015/7/1を効力発生日とした株式分割後（普通株式1株を2株に分割）の値に調整

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

自己株式取得の推移

3兆円以上の自己株式取得を実施



*1 市場480億円、政府720億円　*2 市場610億円、政府390億円　*3 市場2,500億円、政府1,565億円　*4 市場1,012億円、政府2,369億円　*5 市場1,067億円、政府2,674億円
*6 2018年2月21日に市場から1,500億円（上限）の取得を決議/取得期間：2018年2月22日～2018年6月30日

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

NTT東西による事業計画認可申請（3月1日）の概要

（単位：億円）

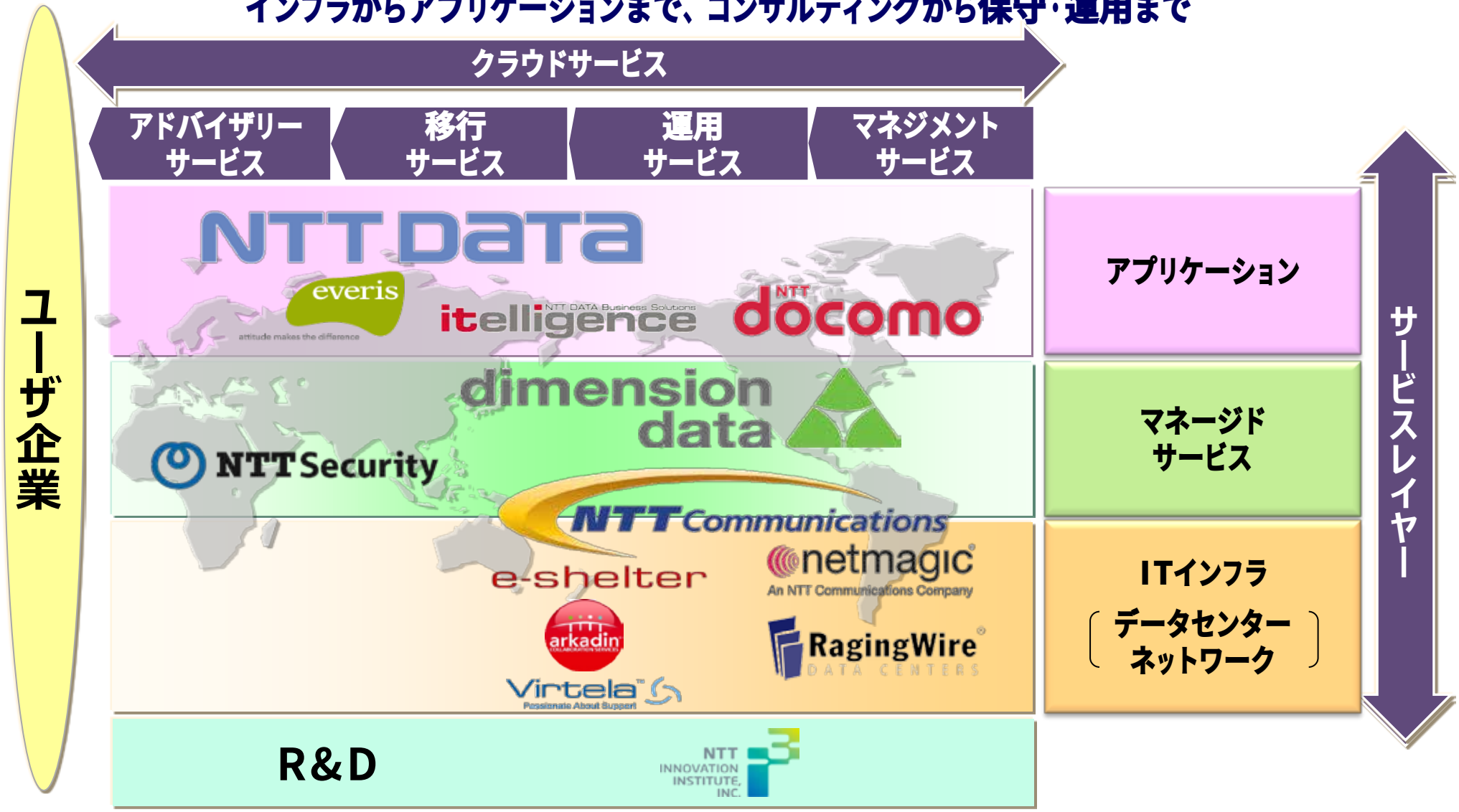
項目	NTT東日本 2018.3期 業績予想	NTT東日本 2019.3期 計画	NTT東日本 対前年増減額	NTT西日本 2018.3期 業績予想	NTT西日本 2019.3期 計画	NTT西日本 対前年増減額
営業収益	16,400	16,000	▲400	14,320	13,890	▲430
営業費用	13,890	14,100	+210	12,680	12,890	+210
営業利益	2,510	1,900	▲610	1,640	1,000	▲640
経常利益	2,590	1,900	▲690	1,590	960	▲630
参考 特別損益	▲610	0	+610	▲640	0	+640
参考 営業利益＋特別損益	1,900	1,900	±0	1,000	1,000	±0

項目	NTT東日本 2018.3期 業績予想	NTT東日本 2019.3期 計画	NTT東日本 対前年増減	NTT西日本 2018.3期 業績予想	NTT西日本 2019.3期 計画	NTT西日本 対前年増減
フレッツ光（コラボ光含む）純増数（単位：万契約）	30	40	+10	16	20	+4
設備投資額（単位：億円）	2,500	2,500	±0	2,600	2,500	▲100
参考 コラボ光 純増数（単位：万契約）	130	105	▲25	116	95	▲21
参考 （再） 転用数（単位：万契約）	90	65	▲25	83	60	▲23

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

グローバルビジネス推進体制

フルスタック＆フルライフサイクル
インフラからアプリケーションまで、コンサルティングから保守・運用まで



Copyright©2018 日本電信電話株式会社

グローバルビジネスの成長戦略

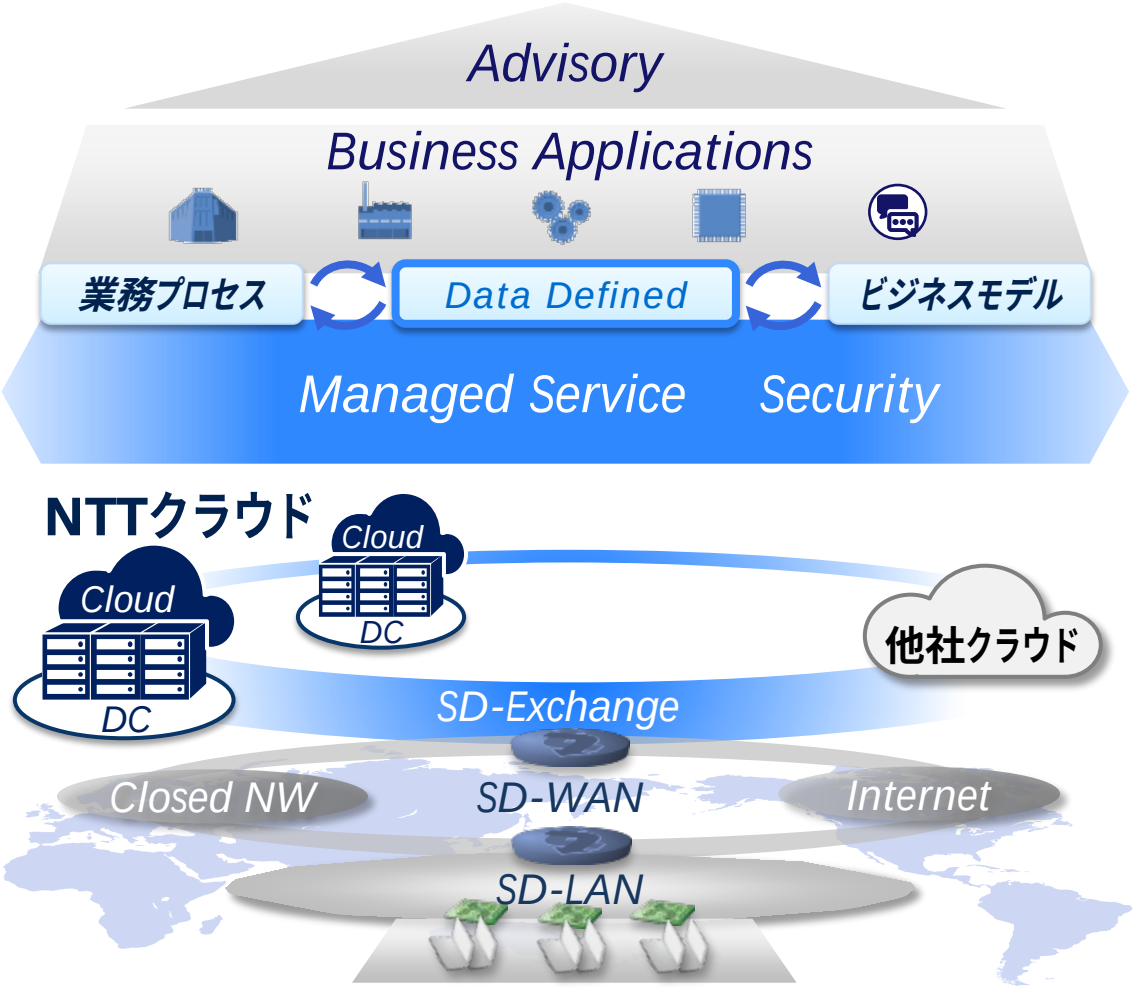
n NTTグループトータルでお客様のデジタルトランスフォーメーションをサポート

アドバイザリ

アプリケーション

マネージドサービス

ITインフラ



R&D Technology

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

グローバルビジネスにおけるNTTのCapability

		NTT	Telecom (A)	Cloud (A)	IT Vendor (A)	SIer (I)
Data Center（コロケーションを含む）		リーダー	○	-	-	◑
Network インテグレーション		リーダー	●	-	●	●
Network		リーダー	●	-	-	-
Apps (ERP等)	導入	アタッカー	-	-	●	●
	AMO	アタッカー	-	-	●	●
Cloud	Public	アタッカー	○	●	-	◑
	Hosted Private	アタッカー	○	-	-	◔
Security		アタッカー	◔	-	-	●

凡例：グローバルな提供能力評価　● トップクラス　◔ 2nd Tierグループ　◑ 特定分野　○ 地域限定　- 提供なし/限定的

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

グローバルビジネスにおける強み

ネットワーク

- 規模：
  - **190以上の国・地域**でサービス提供
  - グローバルIPバックボーンの**トラヒック量世界トップクラス**（Dyn Research社調べ）
- 品質：
  - 日本・アメリカ・アジア主要国間の**ネットワーク接続遅延は業界最小**

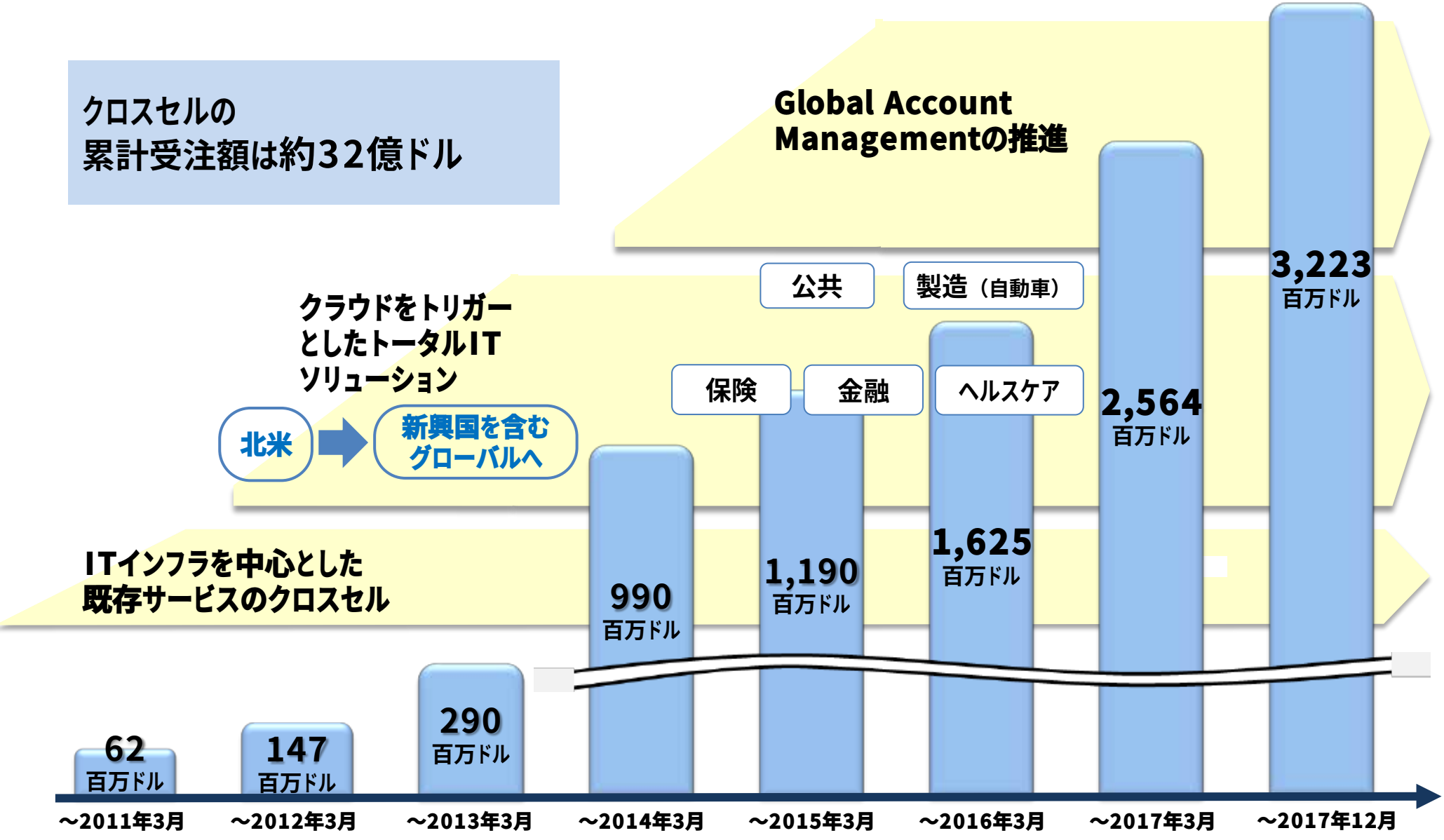
データセンター

- 規模：
  - **世界トップクラス**（面積：約135万㎡）
    （TeleGeography社調べ）
- 品質：
  - TierIV対応の拠点を擁する高品質なラインアップ

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

クロスセルの拡大（クロスセル累計受注額の推移）

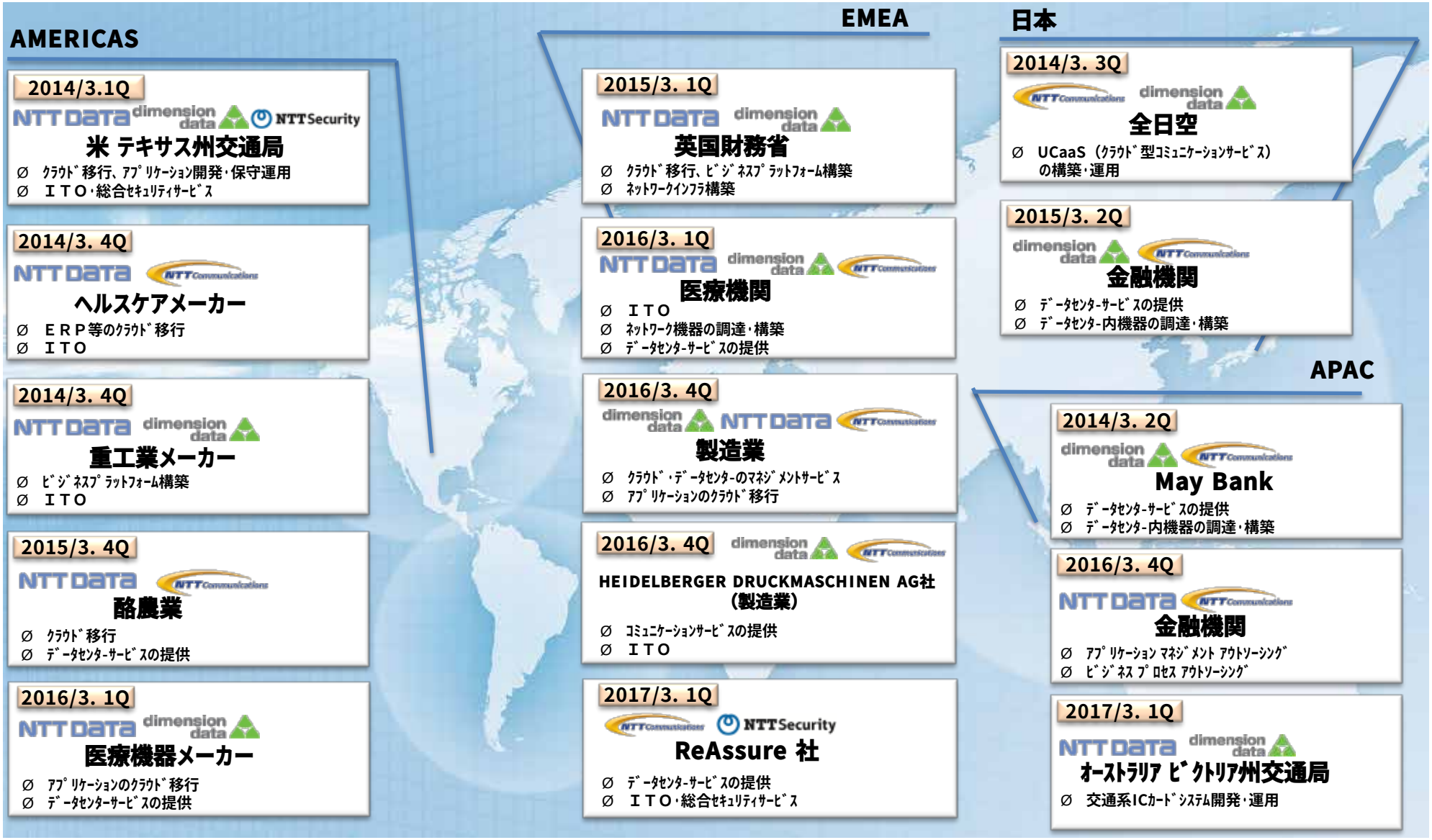
クロスセルの
累計受注額は約32億ドル



Copyright©2018 日本電信電話株式会社

主なクロスセル受注実績

プレゼンスの向上により、グローバル企業からの引き合いが増え、取引が拡大



AMERICAS

2014/3.1Q
NTT DATA / dimension data / NTT Security
米 テキサス州交通局
- Ø ｸﾗｳﾄﾞ移行、ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ開発・保守運用
- Ø ＩＴＯ・総合ｾｷｭﾘﾃｨｻｰﾋﾞｽ

2014/3. 4Q
NTT DATA / NTT Communications
ヘルスケアメーカー
- Ø ＥＲＰ等のｸﾗｳﾄﾞ移行
- Ø ＩＴＯ

2014/3. 4Q
NTT DATA / dimension data
重工業メーカー
- Ø ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ構築
- Ø ＩＴＯ

2015/3. 4Q
NTT DATA / NTT Communications
酪農業
- Ø ｸﾗｳﾄﾞ移行
- Ø ﾃﾞｰﾀｾﾝﾀｰｻｰﾋﾞｽの提供

2016/3. 1Q
NTT DATA / dimension data
医療機器メーカー
- Ø ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝのｸﾗｳﾄﾞ移行
- Ø ﾃﾞｰﾀｾﾝﾀｰｻｰﾋﾞｽの提供

EMEA

2015/3. 1Q
NTT DATA / dimension data
英国財務省
- Ø ｸﾗｳﾄﾞ移行、ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ構築
- Ø ﾈｯﾄﾜｰｸｲﾝﾌﾗ構築

2016/3. 1Q
NTT DATA / dimension data / NTT Communications
医療機関
- Ø ＩＴＯ
- Ø ﾈｯﾄﾜｰｸ機器の調達・構築
- Ø ﾃﾞｰﾀｾﾝﾀｰｻｰﾋﾞｽの提供

2016/3. 4Q
dimension data / NTT DATA / NTT Communications
製造業
- Ø ｸﾗｳﾄﾞ・ﾃﾞｰﾀｾﾝﾀｰのﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｻｰﾋﾞｽ
- Ø ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝのｸﾗｳﾄﾞ移行

2016/3. 4Q
dimension data / NTT Communications
HEIDELBERGER DRUCKMASCHINEN AG社（製造業）
- Ø ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｻｰﾋﾞｽの提供
- Ø ＩＴＯ

2017/3. 1Q
NTT Communications / NTT Security
ReAssure 社
- Ø ﾃﾞｰﾀｾﾝﾀｰｻｰﾋﾞｽの提供
- Ø ＩＴＯ・総合ｾｷｭﾘﾃｨｻｰﾋﾞｽ

日本

2014/3. 3Q
NTT Communications / dimension data
全日空
- Ø UCaaS（ｸﾗｳﾄﾞ型ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｻｰﾋﾞｽ）の構築・運用

2015/3. 2Q
dimension data / NTT Communications
金融機関
- Ø ﾃﾞｰﾀｾﾝﾀｰｻｰﾋﾞｽの提供
- Ø ﾃﾞｰﾀｾﾝﾀｰ内機器の調達・構築

APAC

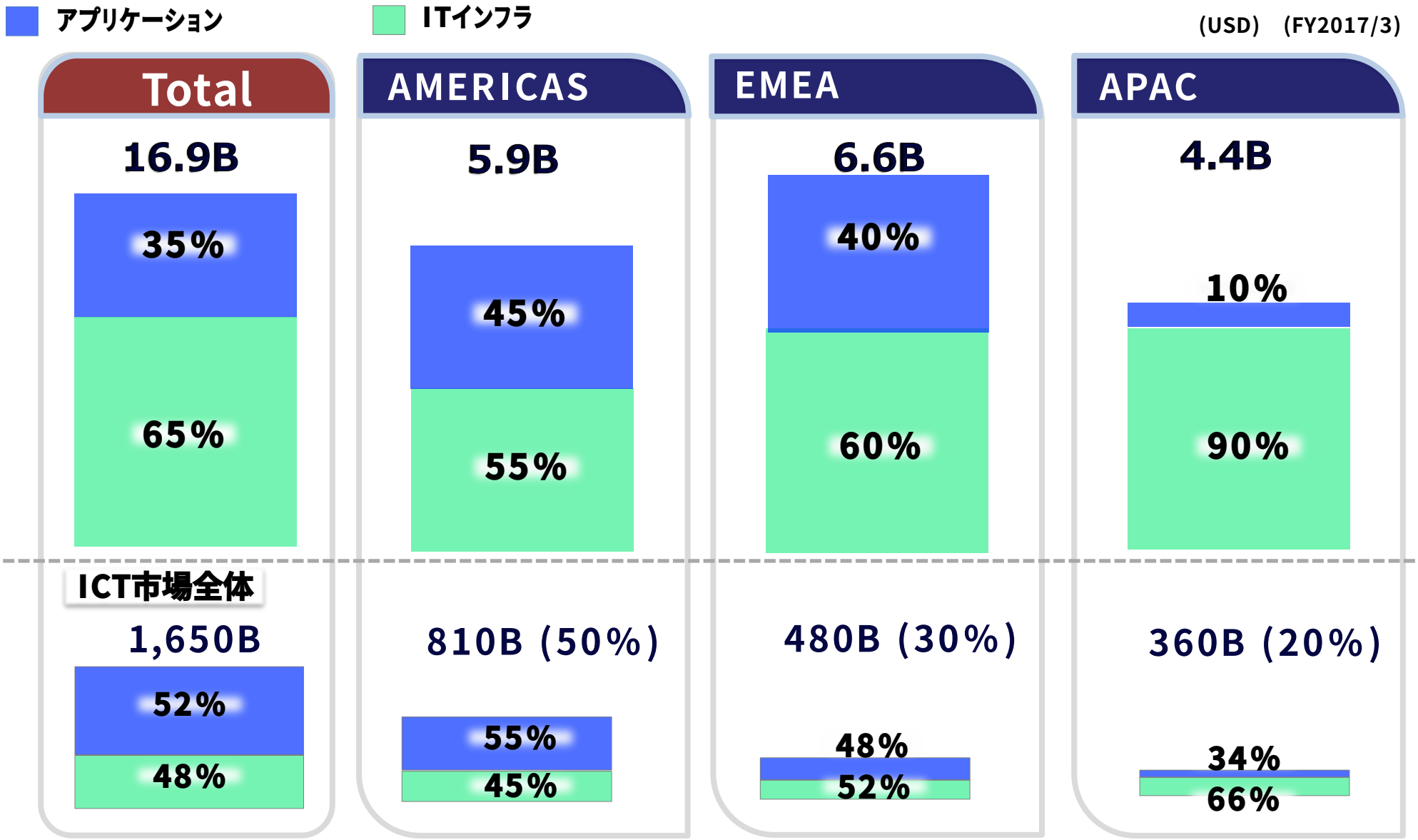
2014/3. 2Q
dimension data / NTT Communications
May Bank
- Ø ﾃﾞｰﾀｾﾝﾀｰｻｰﾋﾞｽの提供
- Ø ﾃﾞｰﾀｾﾝﾀｰ内機器の調達・構築

2016/3. 4Q
NTT DATA / NTT Communications
金融機関
- Ø ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ ｱｳﾄｿｰｼﾝｸﾞ
- Ø ﾋﾞｼﾞﾈｽ ﾌﾟﾛｾｽ ｱｳﾄｿｰｼﾝｸﾞ

2017/3. 1Q
NTT DATA / dimension data
ｵｰｽﾄﾗﾘｱ ﾋﾞｸﾄﾘｱ州交通局
- Ø 交通系ICｶｰﾄﾞｼｽﾃﾑ開発・運用

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

地域毎の売上実績



*1:APACの数値には日本国内市場の数値は含まず　　*2:Source: マッキンゼー資料、ほかをベースに弊社にて作成（電話市場除く）

Copyright©2018　日本電信電話株式会社

スポーツ×ICT　スマートスタジアム powered by デジタルマーケティング

ファン・サポータ

スポンサー

来場者

イベント主催者

地域コミュニティ（地域商店街等）

Nack5スタジアム大宮（大宮アルディージャホームスタジアム）

競技開催日／競技以外（子供教室、地域イベント等）

情報サービス

ファンサービス	*Virtual Reality* ＶＲ子供教室、マイレージポイント　等
映像サービス	*三次元* ３Ｄ、マルチアングル、選手追いかけ　等
e-Commerce ＥＣサービス	地域商店街との相互送客　等

情報基盤

Customer Relationship Management ＣＲＭ基盤	ポイント、クーポン、決済 等
高密度Ｗｉ-Ｆｉ、Ｗｉ-Ｆｉマルチキャスト 等	

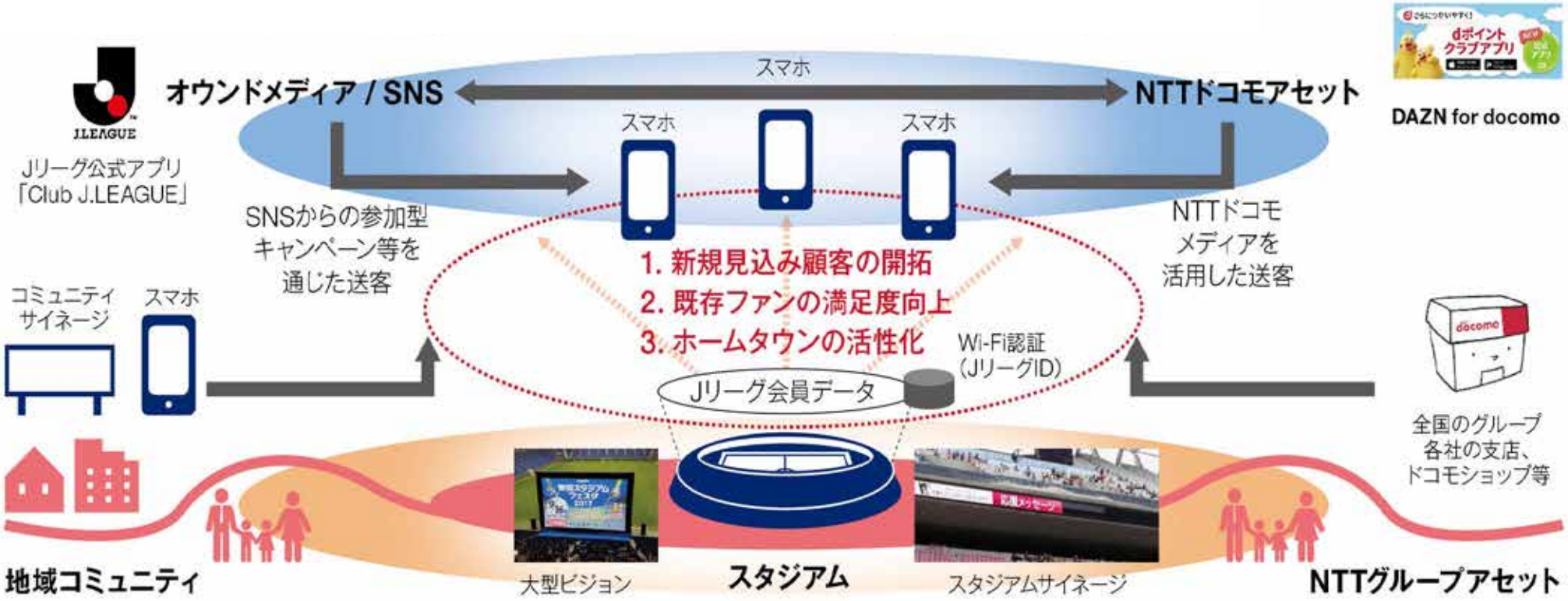
Copyright©2018　日本電信電話株式会社

リーグ・クラブチームと連携したスポーツの成長産業化への貢献

協業イメージ

～デジタルマーケティングによる顧客基盤の拡大～

- Jリーグの推進するマーケティング活動を、NTTグループアセットをフル活用し支援する。
- Jリーグ・クラブチームの収益拡大に貢献するとともに、NTTグループの新たなサービス創造・ビジネスモデル開発をめざす。



Copyright©2018　日本電信電話株式会社

スポーツ×ICT　世界のスポーツのスマート化

NTT

海外

The Open
ジ・オープン（英国）

飛距離・軌道、
ツイートマップ(世界)

Tour de France
ツール・ド・フランス（仏）

レーサー位置、
スピード、時間差、
映像＆データ連携

※*Six Day London*（欧州人気の室内自転車イベント）では、車輪回転数、心拍数も計測

Indianapolis 500mile Race
インディ５００（米）

走行状況、
レーサーのバイタル

日本

アルペンスキーW杯（苗場）

大会公式アプリ(選手情報、結果、マップ 他)、映像配信

世界トライアスロンシリーズ（横浜）

トライアスロン公式アプリ
ライブ動画IP配信(パラ競技)

ジャパンウォーク（東京）

ユニバーサルデザイン情報(Ｗｅｂアプリ)の提供

Copyright©2018　日本電信電話株式会社

札幌市・地元流通企業との連携による、オープンデータ・リアルデータを活用したICTまちづくりへの貢献

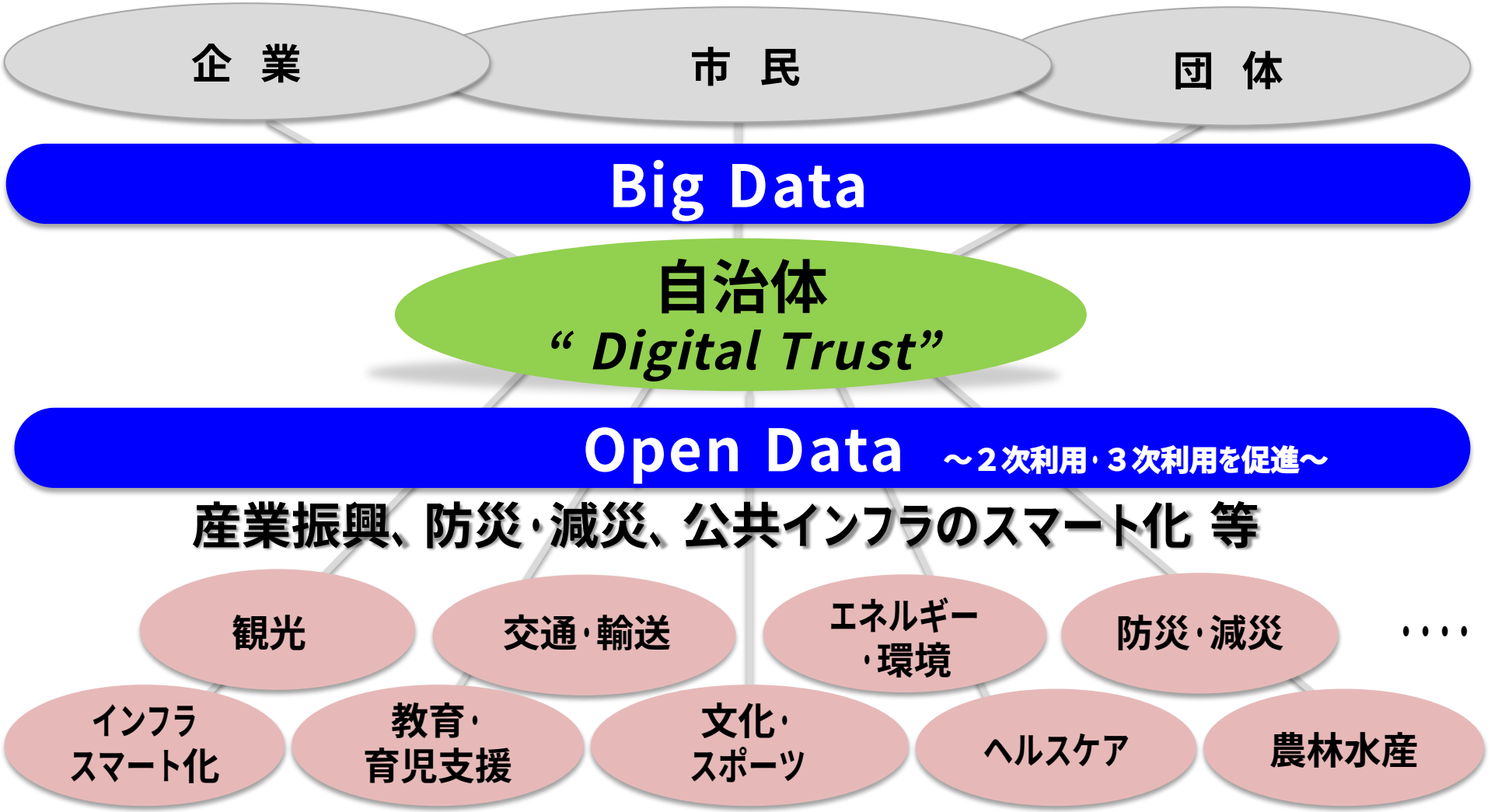
国内外の観光客の人流、嗜好、購買データなどのリアルデータを収集・分析し、ホテルや観光地、ショッピング施設に相互送客するなど消費拡大施策を展開するとともに、札幌市の魅力発信に貢献。

＜データマーケティング（周遊・消費）の全体フレーム＞

Copyright©2018　日本電信電話株式会社

社会・経済的課題の解決にむけて

自治体がハブとなって行政サービスと社会インフラの連携を推進し、
地域（広域経済圏を含む）の社会・経済的課題の解決に貢献



Copyright©2018 日本電信電話株式会社

研究開発の主な取組み（2017年3月期）

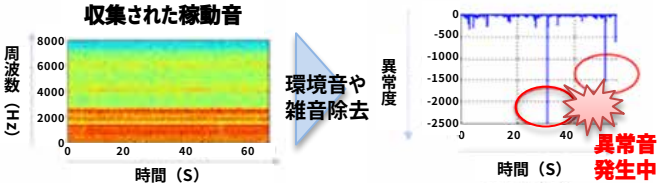
世界が驚く対話技術

・SXSW2017（3/10-19 米オースティン）にて、「複数の人間とロボットとの自然な対話」等を披露

USA TODAY他、地元紙1面トップに掲載

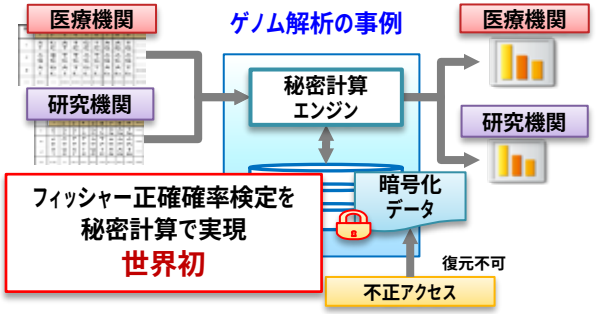
世界一の音響処理技術

・生産設備機器の稼動音と故障の特性を客観的に可視化・解析する「異常検知技術」を日立造船へ提供



世界最高のセキュリティ技術

・最も機微な個人情報「ゲノム情報」を暗号化したまま複数の機関が相互に開示せず正確に分析できる「秘密計算技術」の開発



スポーツ選手強化を実現する技術

・投手の球筋を臨場感高く体験可能な「スポーツ一人称視点合成技術」を用いたプロ野球選手向けトレーニングシステムを開発し、東北楽天ゴールデンイーグルスとともに実証実験（2017年より商用提供開始）

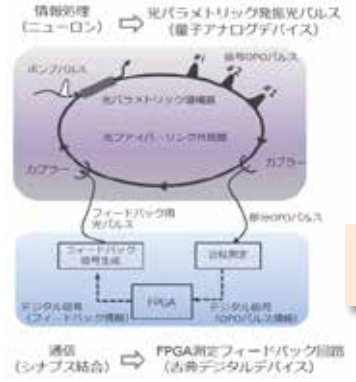
ダイバーシティ・ナビゲーションの技術

・バリアフリー情報を簡単に収集できる技術「MaPiece」と、平易な立体地図表示を実現する「2.5D地図表現」技術を開発

車いすやベビーカーで移動される方や高齢者、訪日外国人などの移動を安心・便利にサポート

全く新しいコンピュータの開発

・光の量子性を利用した全く新しい計算機「量子ニューラルネットワーク」を開発し、現代コンピュータでは解くことが困難な組合せ最適化問題を高速に処理する技術を実現



従来のデジタルコンピュータに比して**約50倍高速化**

米国科学誌「Science」オンライン速報版に掲載

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

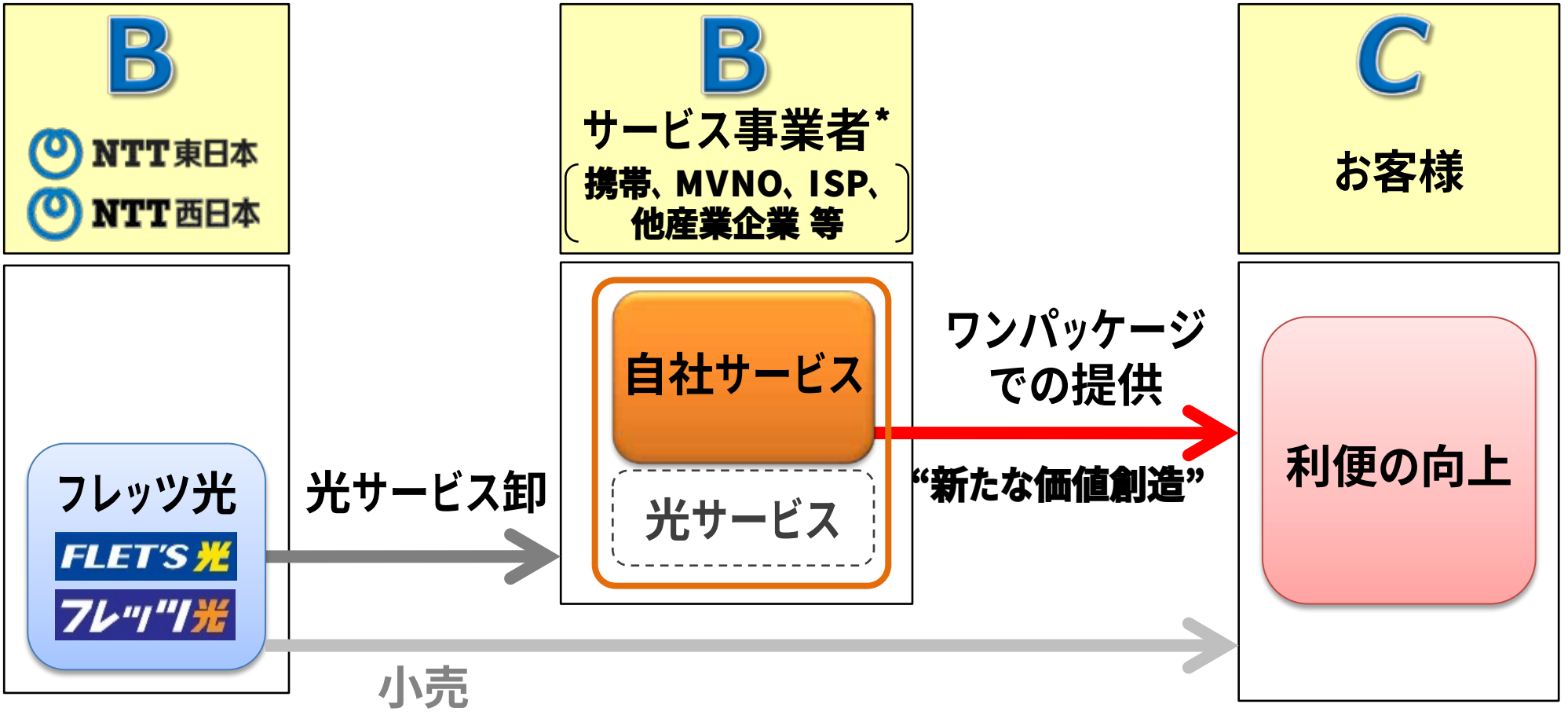
ドコモ お客さま還元（2018年3月期第3四半期）

お客さまの声にお応えして更に充実

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

NTT東日本・西日本「光コラボレーションモデル」

多様なサービス事業者によるサービス創出を下支え



*688社のサービス事業者が卸サービスを提供（2017年12月末現在）

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

ドコモ光パックの契約数・料金表

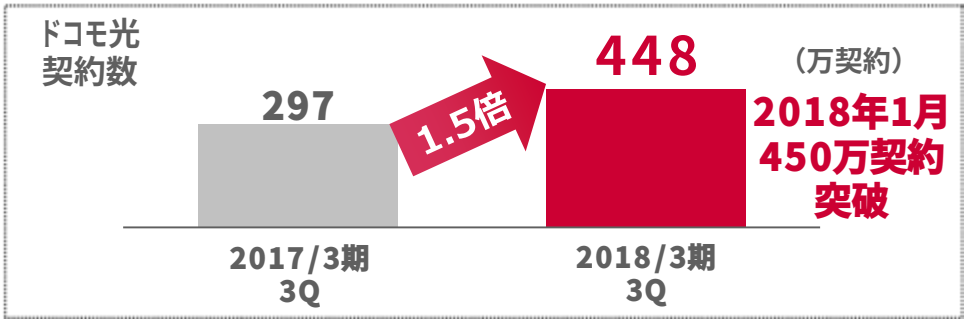
		名称	月額料金[*1*2]
基本プラン	カケホーダイ/シンプルプラン	カケホーダイプラン（スマホ／タブ）	2,700円
		カケホーダイプラン（ケータイ）	2,200円
		カケホーダイライトプラン[*3]（スマホ／タブ）	1,700円
		カケホーダイライトプラン[*3]（ケータイ）	1,200円
		シンプルプラン[*4]（スマホ／ケータイ）	980円
	データプラン	データプラン（スマホ／タブ）	1,700円
		データプラン（ルーター）	1,200円
	キッズ向けプラン	キッズケータイプラス[*5]	500円

＋

		名称	容量	月額料金
パケットパック	1人での利用向け	ケータイパック[*3*6]	2GB	300～4,200円
		データSパック	2GB	3,500円
		データMパック	5GB	5,000円
		ウルトラデータLパック	20GB	6,000円
		ウルトラデータLLパック	30GB	8,000円
	家族でシェア	シェアパック5	5GB	6,500円
		シェアパック10	10GB	9,500円
		シェアパック15	15GB	12,500円
		ウルトラシェアパック30	30GB	13,500円
		ウルトラシェアパック50	50GB	16,000円
		ウルトラシェアパック100	100GB	25,000円

＋

その他	シェアオプション ※子回線1回線あたり	500円
	ずっとドコモ割[*7] （代表回線のご利用年数に応じて割引）	▲100円～ ▲2,500円
	docomo with[*8] （対象スマホ購入者に割引）	▲1,500円
	ドコモの学割[*9] （25歳以下のお客様に割引）	▲1,500円



ドコモ光

	月額料金	モバイル	光回線	セット割
ドコモ光パック	5,500～9,400円	300～4,200円	5,200円	0円
	8,700円	3,500円	5,200円	0円
	9,400円	5,000円	5,200円	▲ 800円
	10,300円	6,000円	5,200円	▲ 1,400円
	12,100円	8,000円	5,200円	▲ 1,600円
	10,900円	6,500円	5,200円	▲ 800円
	13,500円	9,500円	5,200円	▲ 1,200円
	15,900円	12,500円	5,200円	▲ 1,800円
	16,700円	13,500円	5,200円	▲ 2,500円
	18,700円	16,000円	5,200円	▲ 2,900円
	27,000円	25,000円	5,200円	▲ 3,500円

期間限定割引
▲ 500円
▲ 500円

開通から1年適用

・光回線の金額はすべて戸建の場合
・光回線のISPはタイプAの場合。タイプBの場合は、上記光回線料金が＋200円、ISPアンバンドルの場合は上記光回線が▲200円となるが、ISP料金が別途必要

*1 基本プランの月額料金は全て2年定期契約時の料金
*2 割引の適用がない代わりに解約金がかからない「フリーコース」も提供
*3 Xi契約のみ適用
*4 セットでパケットパック（ウルトラデータパック又はシェアパック）のご契約が必要
*5 カケホーダイプラン／データプランのご契約がある場合のみご契約可能
*6 カケホーダイプラン（ケータイ）又はカケホーダイライトプラン（ケータイ）のみ契約可
*7 最初の2年契約満了後の更新期間は解約金なしでの解約が可能
*8 端末購入補助（月々サポート・端末購入サポート等）との併用不可
*9 カケホーダイ/ライトプラン 又はシンプルプラン（スマホ）の契約が必要（契約月＋12ヶ月間割引）

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

ドコモ 5Gがめざす世界

NTT

高速・大容量

- ピークレート 10Gbps超
- システム容量 1,000倍*

AR/VR

4K/8K
ストリーミング

スタジアムソリューション

自動運転

5G

スマートシティ・スマートホーム

低遅延

無線区間の伝送遅延 1ms以下

遠隔医療

農業ICT

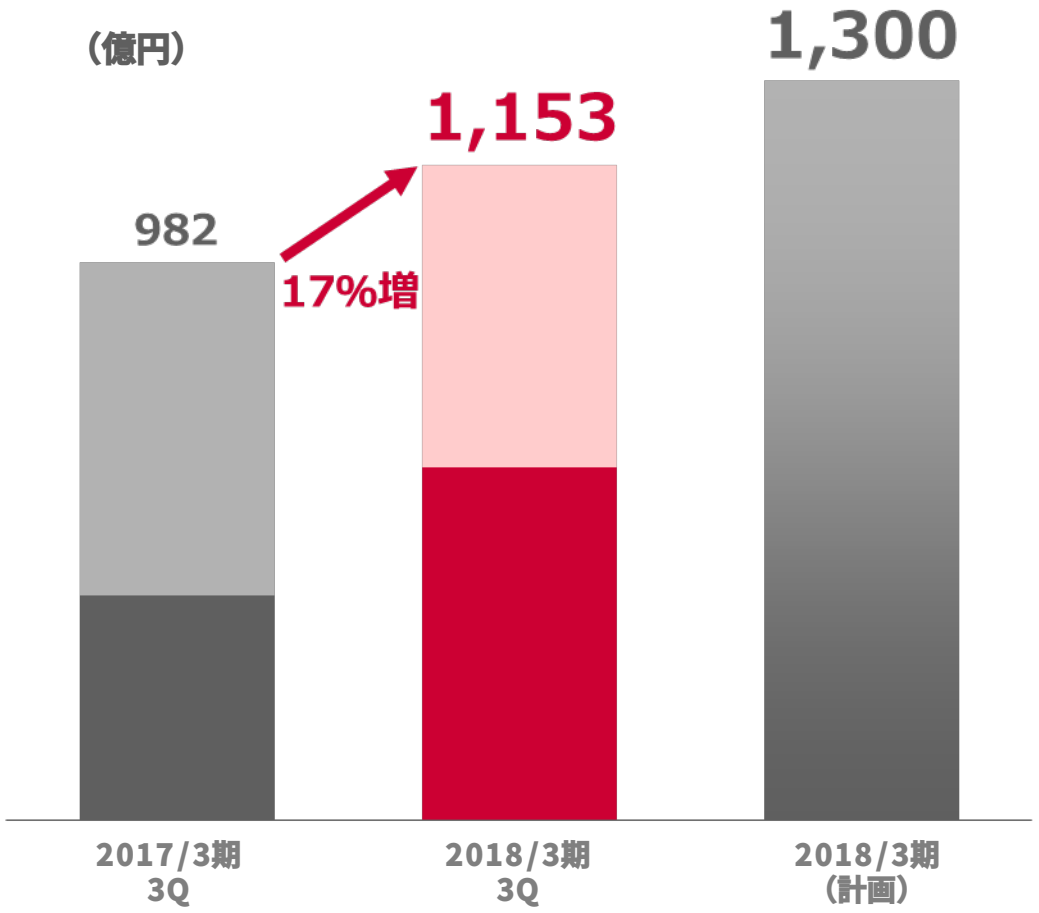
多数の端末との接続

同時接続数 100倍*

* 2010年と比較した数値目標 （2015年と比較した場合、システム容量 100倍、同時接続数 10倍）

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

ドコモ スマートライフ領域 営業利益



主なサービス

- スマートライフ事業
  - コンテンツ・コマース
  - 金融・決済
  - ライフスタイル
- その他の事業
  - 法人ソリューション
  - あんしん系サポート

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

IP網への移行

サービスの切替及びIP網への切替完了時期

- PSTN*の中継・信号交換機等は、維持限界を迎えるものが発生するため、それまでにIP網への切替を完了

*PSTN（公衆交換電話網：Public Switched Telephone Network）
：加入電話（電話サービス）及びINSネット（総合ディジタル通信サービス）を提供するネットワーク

- 「固定電話」発信の通話のIP網経由への切替は、2024年1月より開始（2025年1月完了）
- 「固定電話」の切替開始時に、加入電話・INSネットの契約を一斉に引継ぎ、新たな料金を適用

IP網切替後の固定電話の料金・提供条件

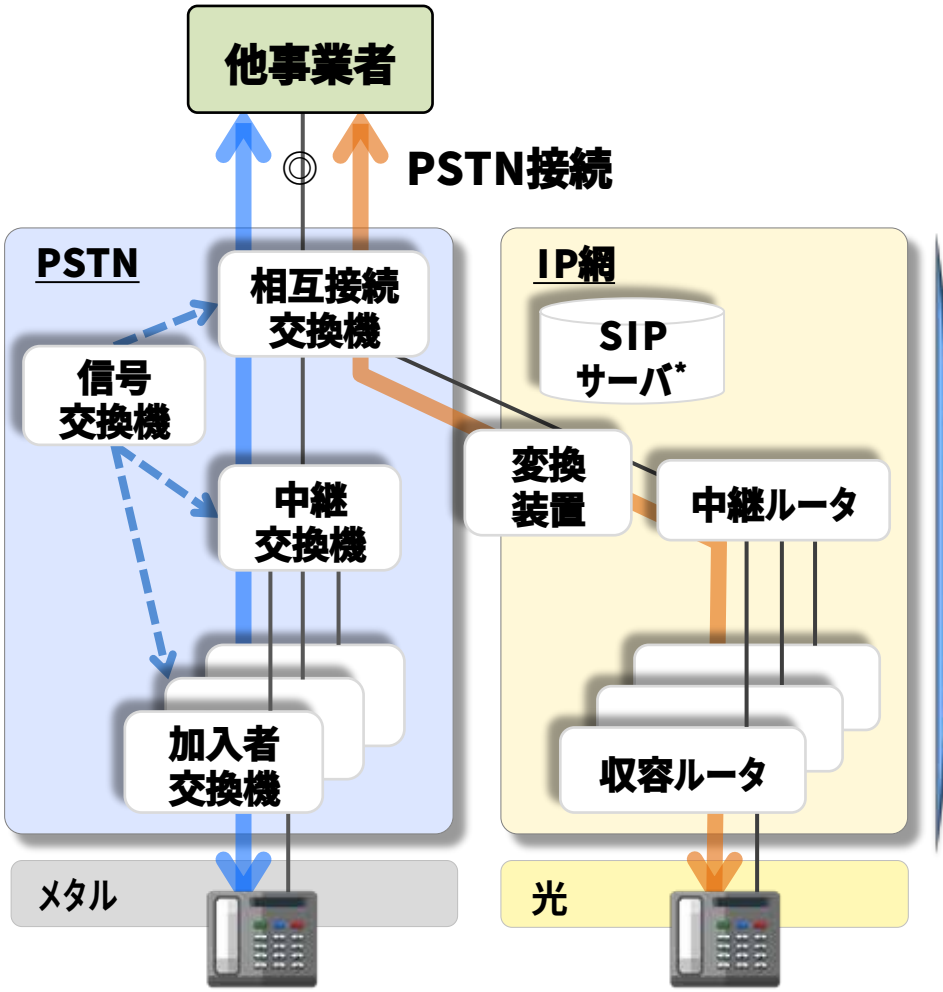
- 基本的な音声サービスは維持し、お客様宅内での工事は不要で電話機等はそのままご利用可能
- 現在予定しているIP網切替後の固定電話の料金・提供条件は以下のとおり

- **基本料**：市場環境が著しく変化しない限り、**現在の加入電話・INSネットの基本料と同額**
- **通話料**：距離にほとんど依存しないIP網の特性を活かし、固定電話への通話は**全国一律3分8.5円**（税抜）
  国際通話も、ひかり電話と同様、当社が提供（00XY事業者選択も可能）
- **契約**　：加入電話・INSネットをご利用の全てのお客様に対して、切替前に十分な期間を確保し、複数回お知らせの上、切替後の固定電話に契約を引継ぎ
- **マイラインの扱い**：マイラインの扱いは別途案内

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

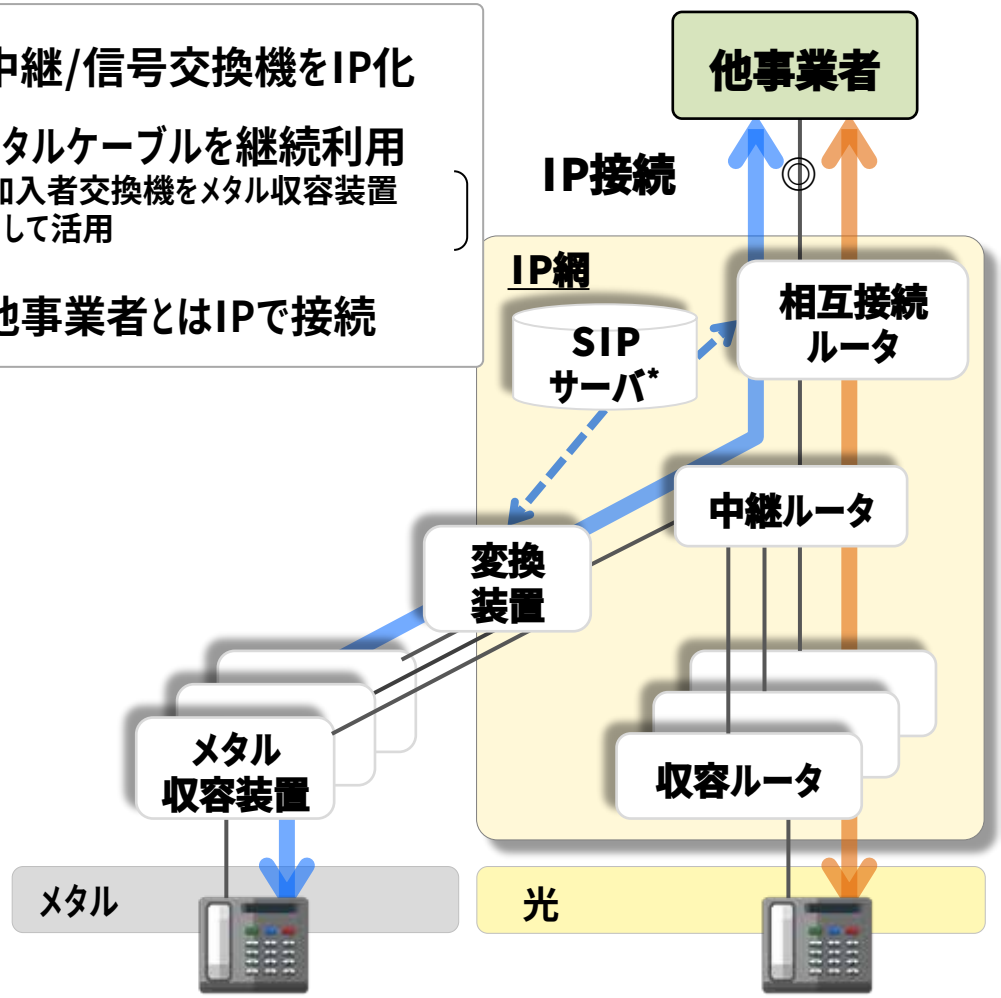
IP網への移行イメージ

現状



IP網への移行後

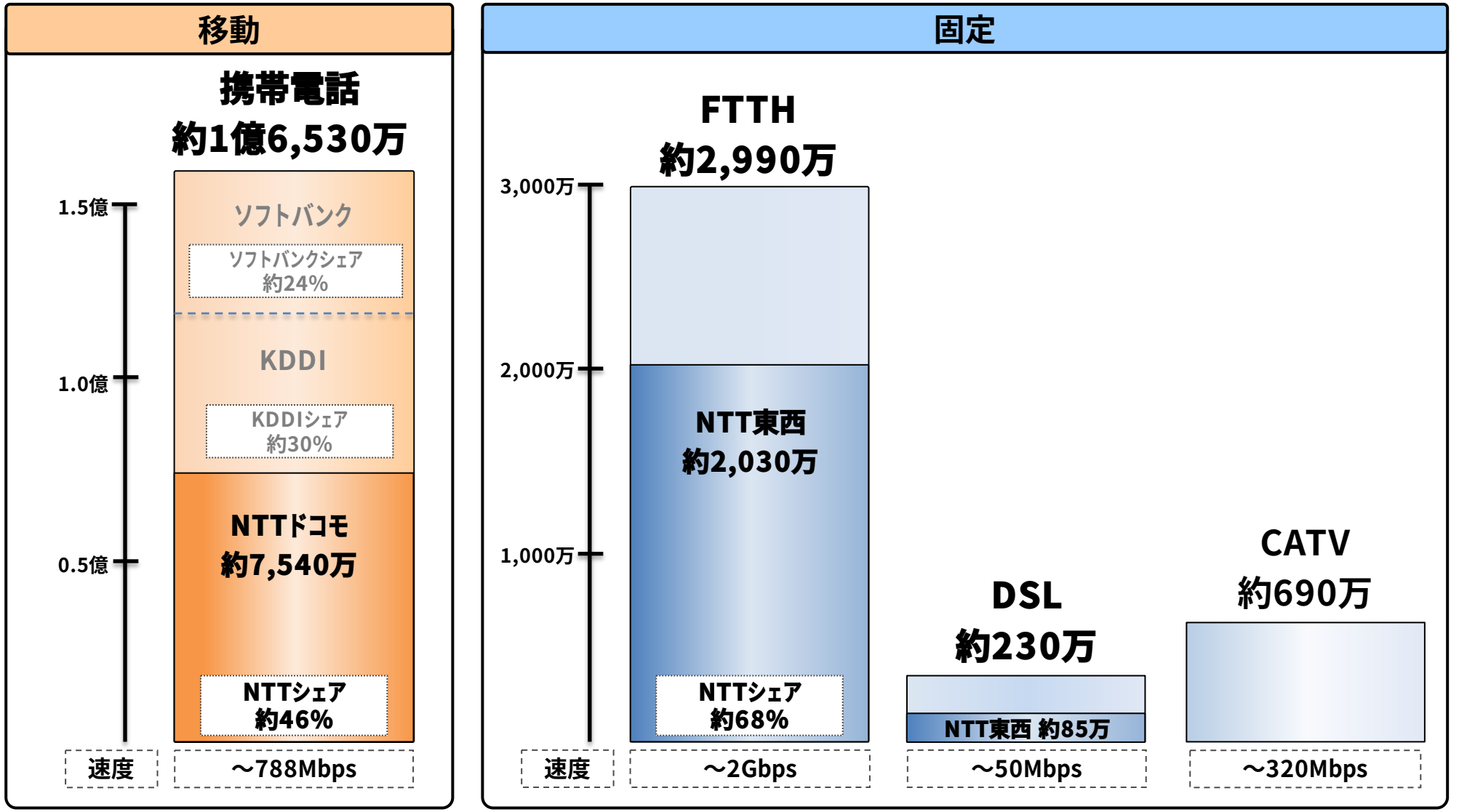
- 中継/信号交換機をIP化
- メタルケーブルを継続利用
  （加入者交換機をメタル収容装置として活用）
- 他事業者とはIPで接続



* IP網における電話サービスの管理・制御を行なうサーバ（SIP: Session Initiation Protocol）

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

日本のブロードバンドアクセスサービス

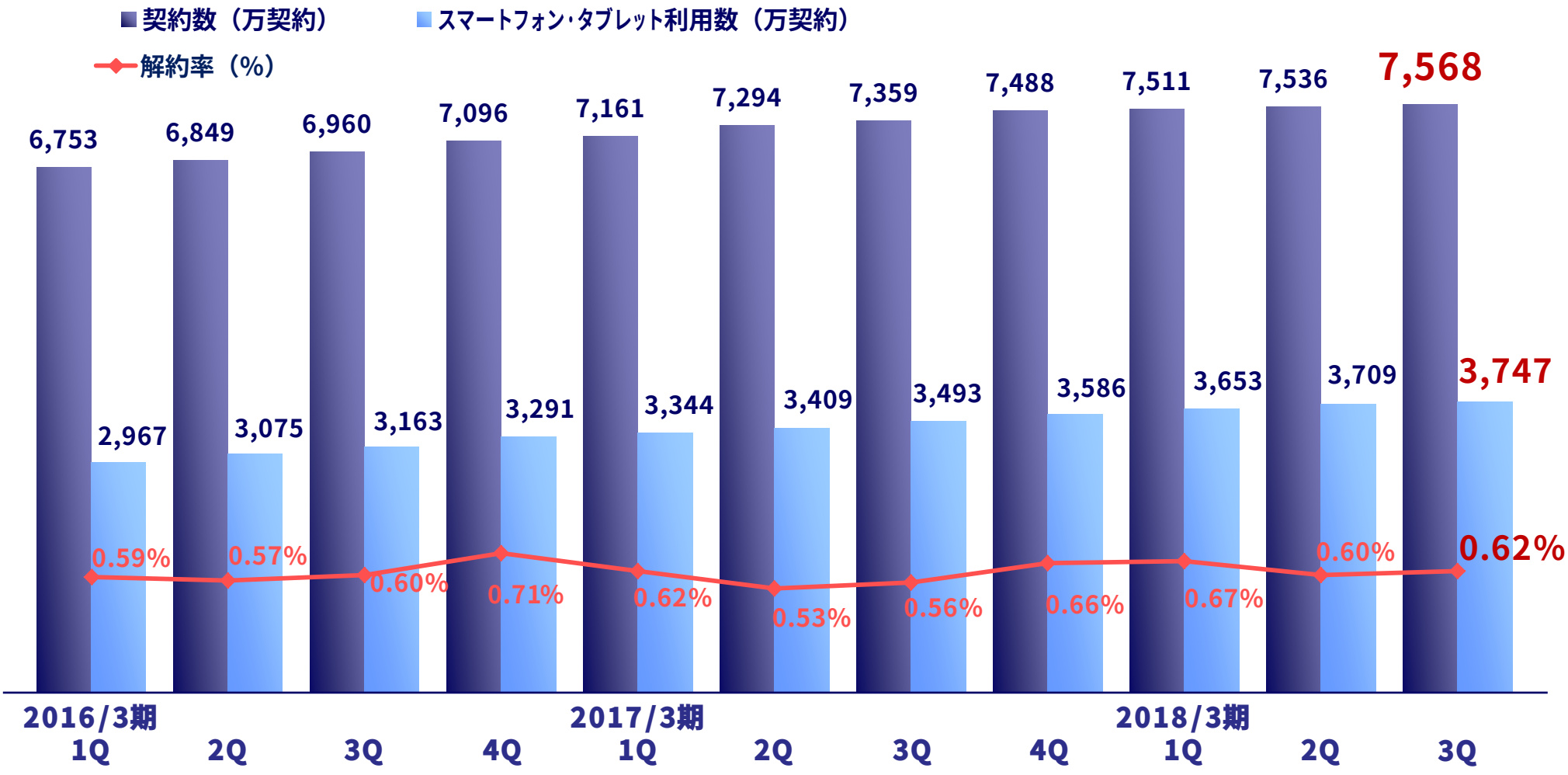


*速度に関する数値は代表的な商用サービスの速度であり、ベストエフォートでの最大値
（出典）総務省公表値　2017年9月末時点

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

移動ブロードバンドサービス

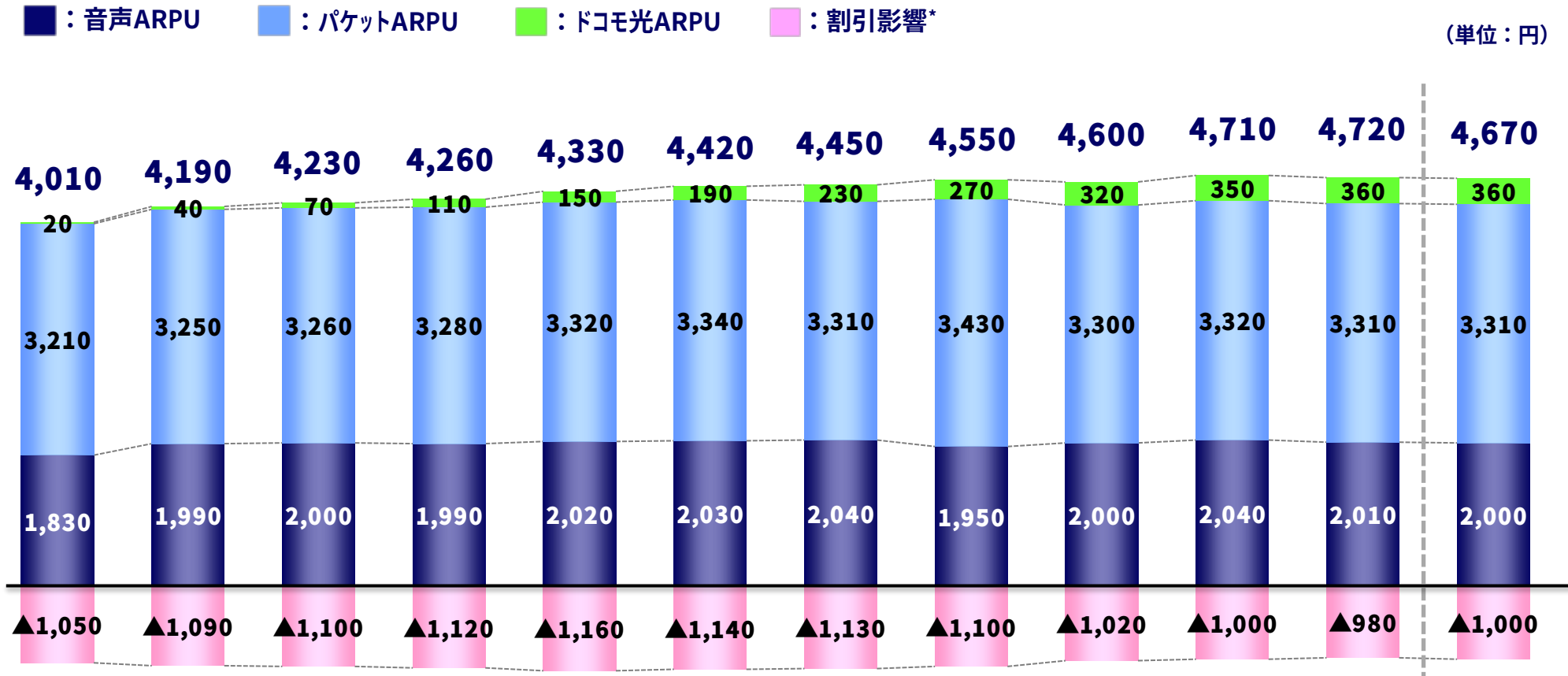
ドコモ 携帯電話サービス



* 解約率は、仮想移動通信事業者（MVNO）の契約数及び解約数を除いて算出

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

移動ブロードバンドサービスの総合ARPU



MOU（分）	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
	129	134	136	135	136	136	139	136	136	136	139

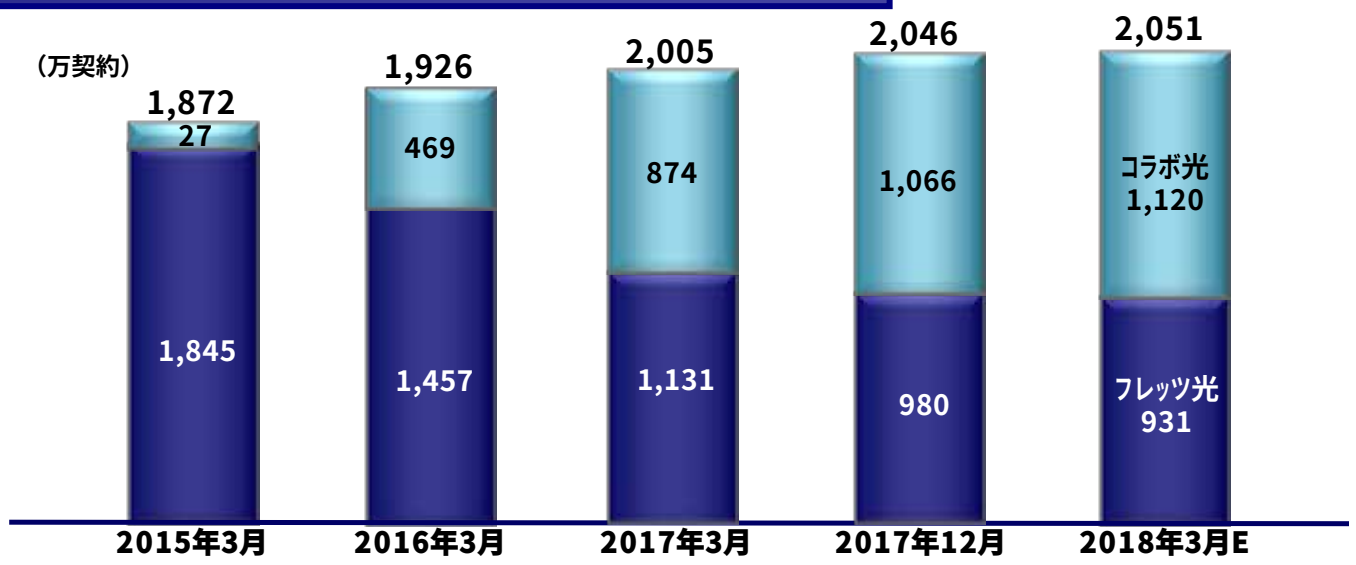
・2016年3月期通期 総合ARPU 4,170円 （音声ARPU 1,950円、 パケットARPU 3,250円、 ドコモ光ARPU 60円、割引影響 ▲1,090円）
・2017年3月期通期 総合ARPU 4,430円 （音声ARPU 2,010円、 パケットARPU 3,340円、 ドコモ光ARPU 210円、割引影響 ▲1,130円）

*割引影響：月々サポート・ドコモ光セット割等による影響

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

固定ブロードバンドサービス　FTTH契約者数

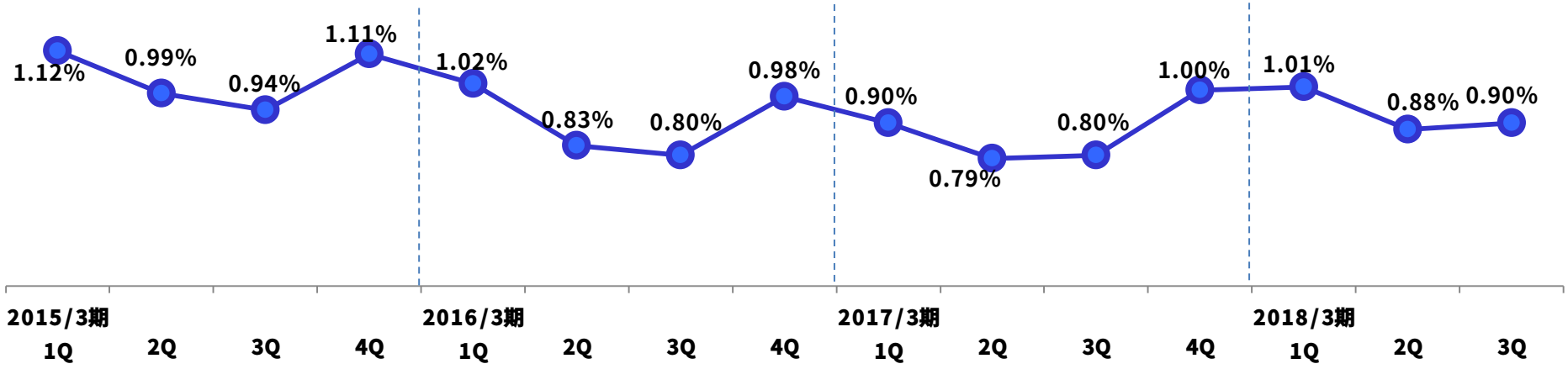
FTTH契約者数の推移（東西合算）



＜参考＞
2018/3期 FTTH 純増数等内訳

		2018/3E
FTTH純増数		46万
コラボ光	開通数	371万
	転用数	173万
	解約数	▲125万
	純増数	246万
フレッツ光	開通数	85万
	解約数	▲285万
	転用数	▲173万
	純増数	▲200万

FTTH解約率*の推移（東西合算）



* 各四半期における「各月解約数の合計」/「各月稼動契約数**の合計」　** 稼動契約数・・・(前月末契約数＋当月末契約数）/ 2

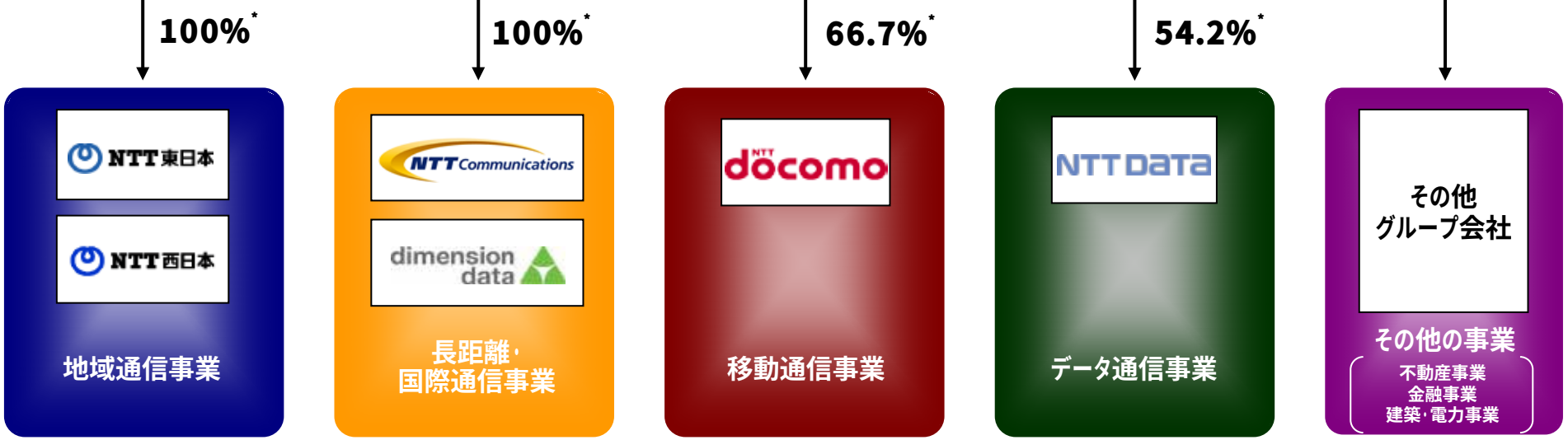
Copyright©2018　日本電信電話株式会社

NTTグループのフォーメーション

NTT

- 連結営業収益 ： 113,910億円
- 連結営業利益 ： 15,398億円
- 従業員数 ： 274,850名
- 連結子会社数 ： 944社

*記載の数字は主要子会社に対する議決権比率（2017年3月末現在）

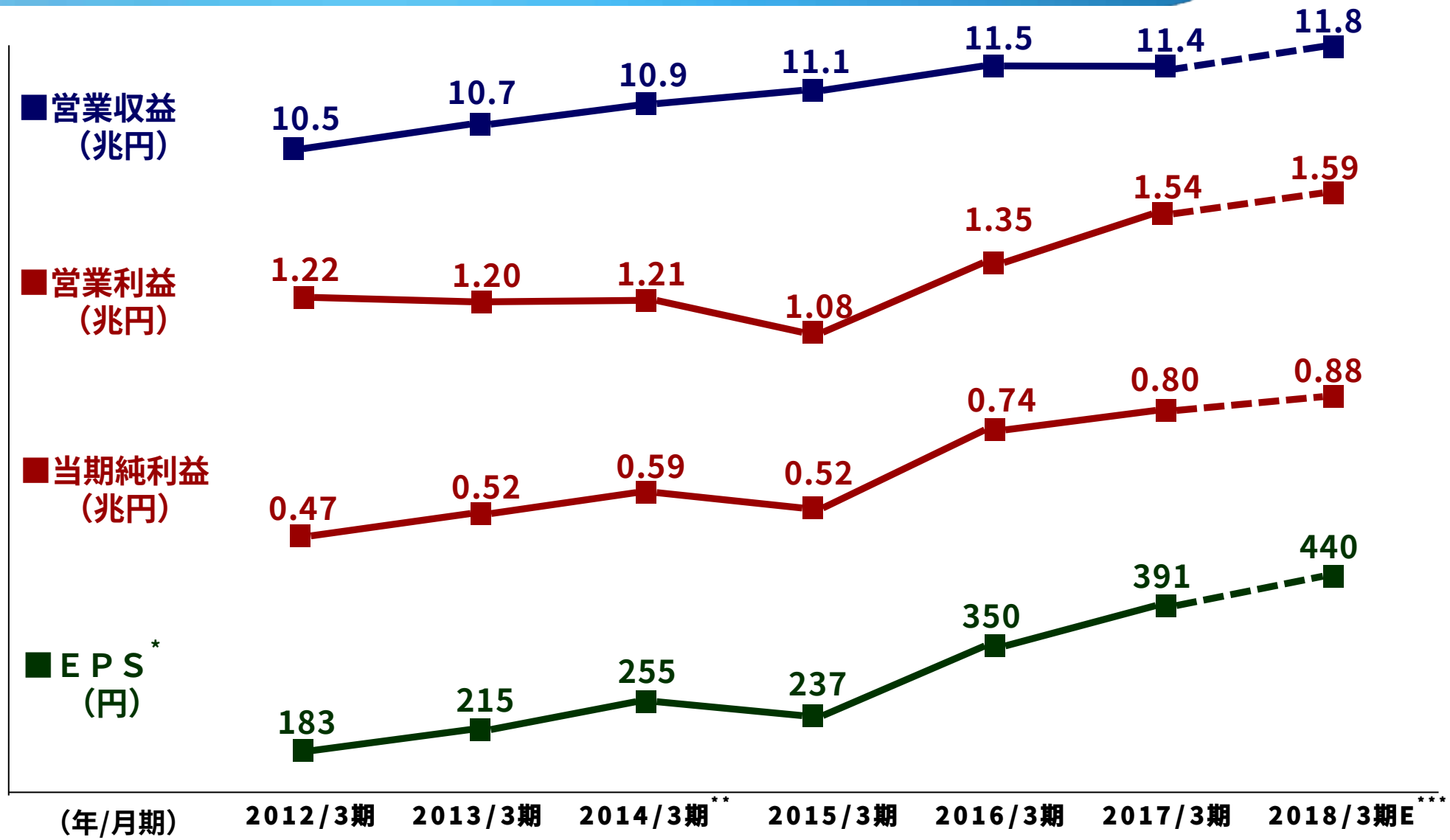


営業収益	33,082億円	21,293億円	45,846億円	17,187億円	12,823億円
営業利益	3,595億円	408億円	9,516億円	1,079億円	773億円
従業員数	68,250名	43,850名	26,750名	111,650名	24,350名
子会社数	51社	381社	118社	301社	93社

* 2017年3月期。各セグメントの営業収益および営業利益は、セグメント間取引を含む

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

連結業績の推移



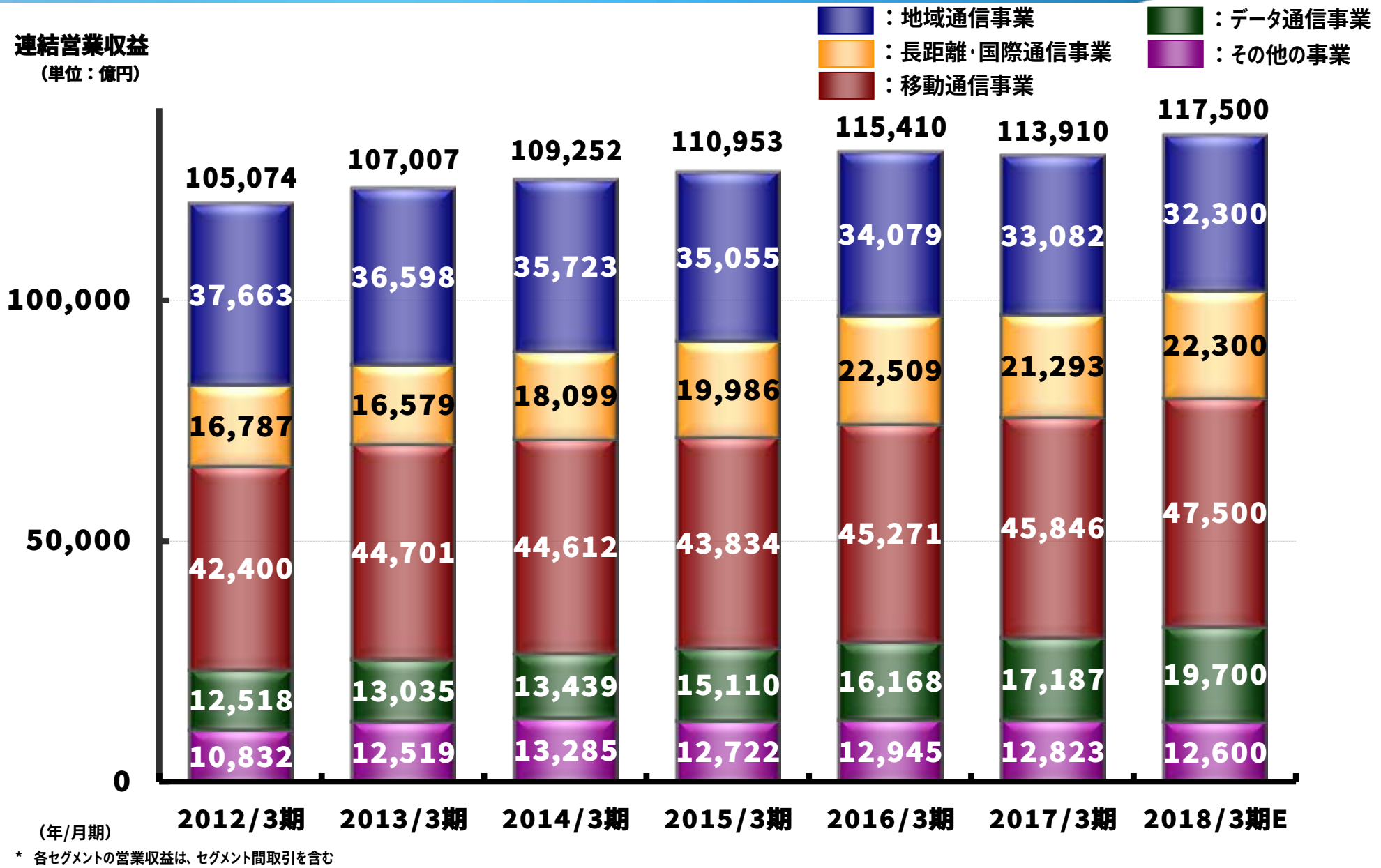
* EPSは、2015/7/1を効力発生日とした株式分割後（普通株式1株を2株に分割）の値に調整

** 大手町二丁目地区再開発事業による営業外収益600億円計上の影響を含む

***Tata Sons Limitedからの仲裁裁定金受領影響を除く当期純利益 8,300億円、EPS 416円

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

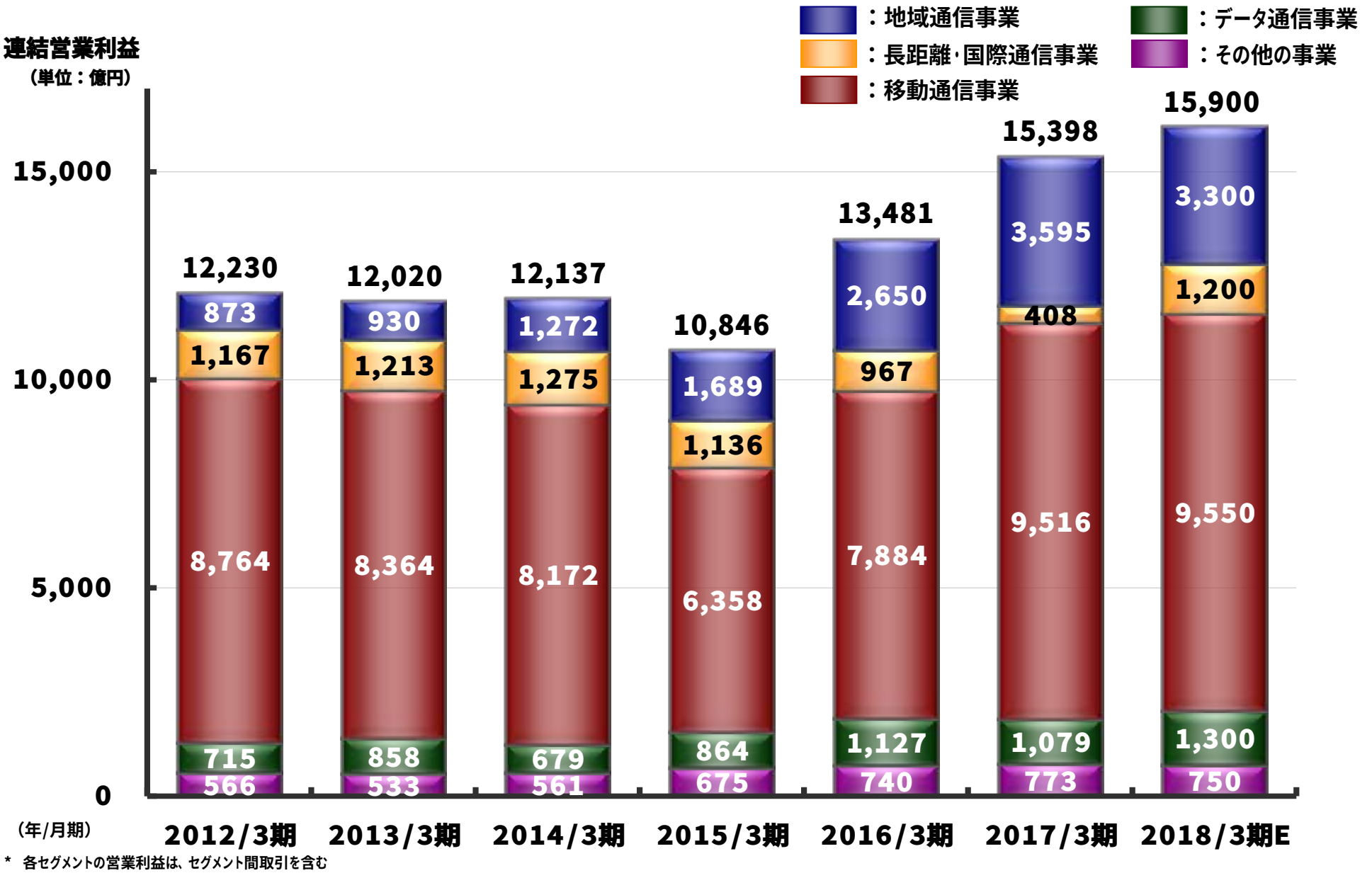
連結営業収益の推移



* 各セグメントの営業収益は、セグメント間取引を含む

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

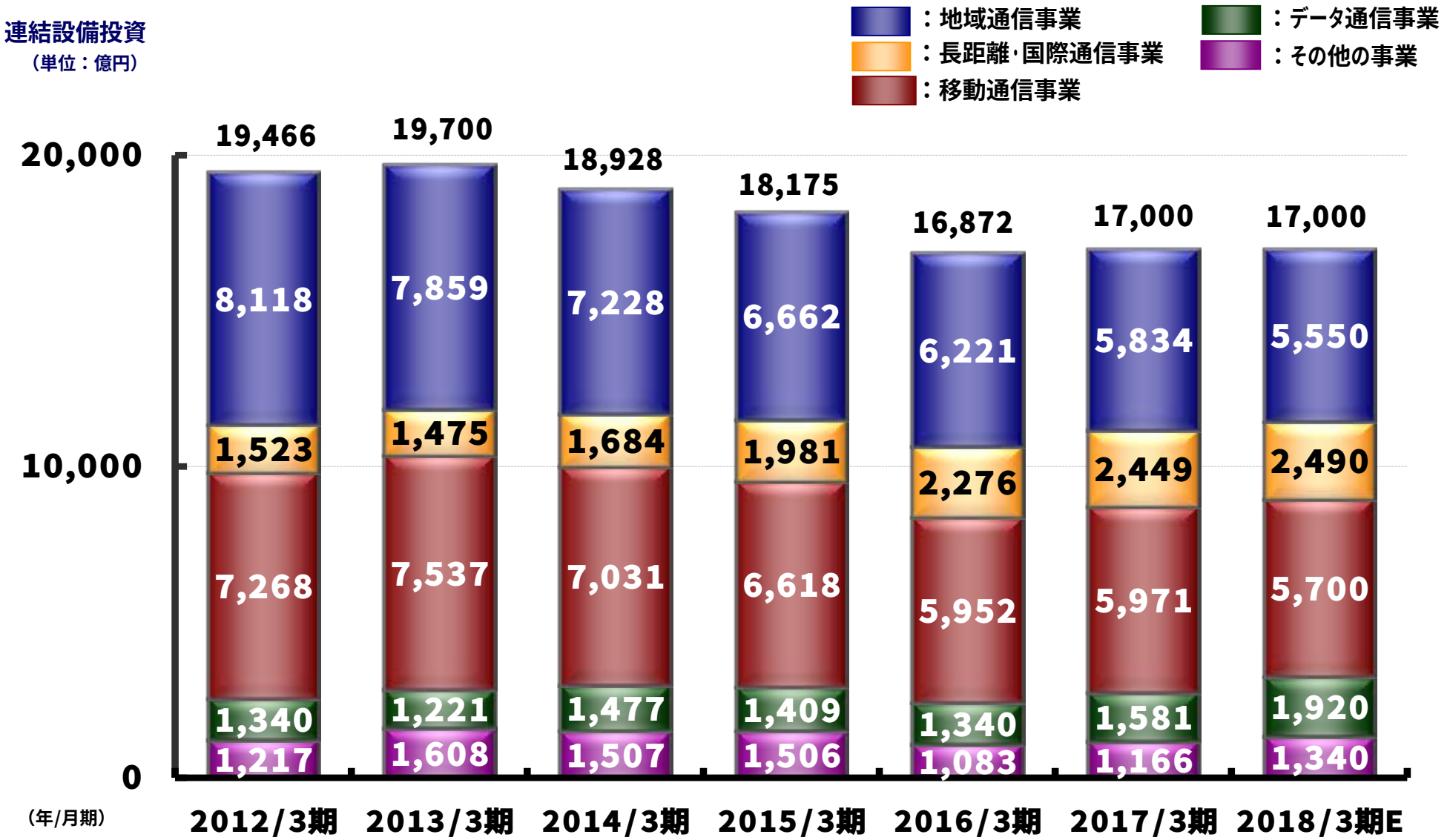
連結営業利益の推移



* 各セグメントの営業利益は、セグメント間取引を含む

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

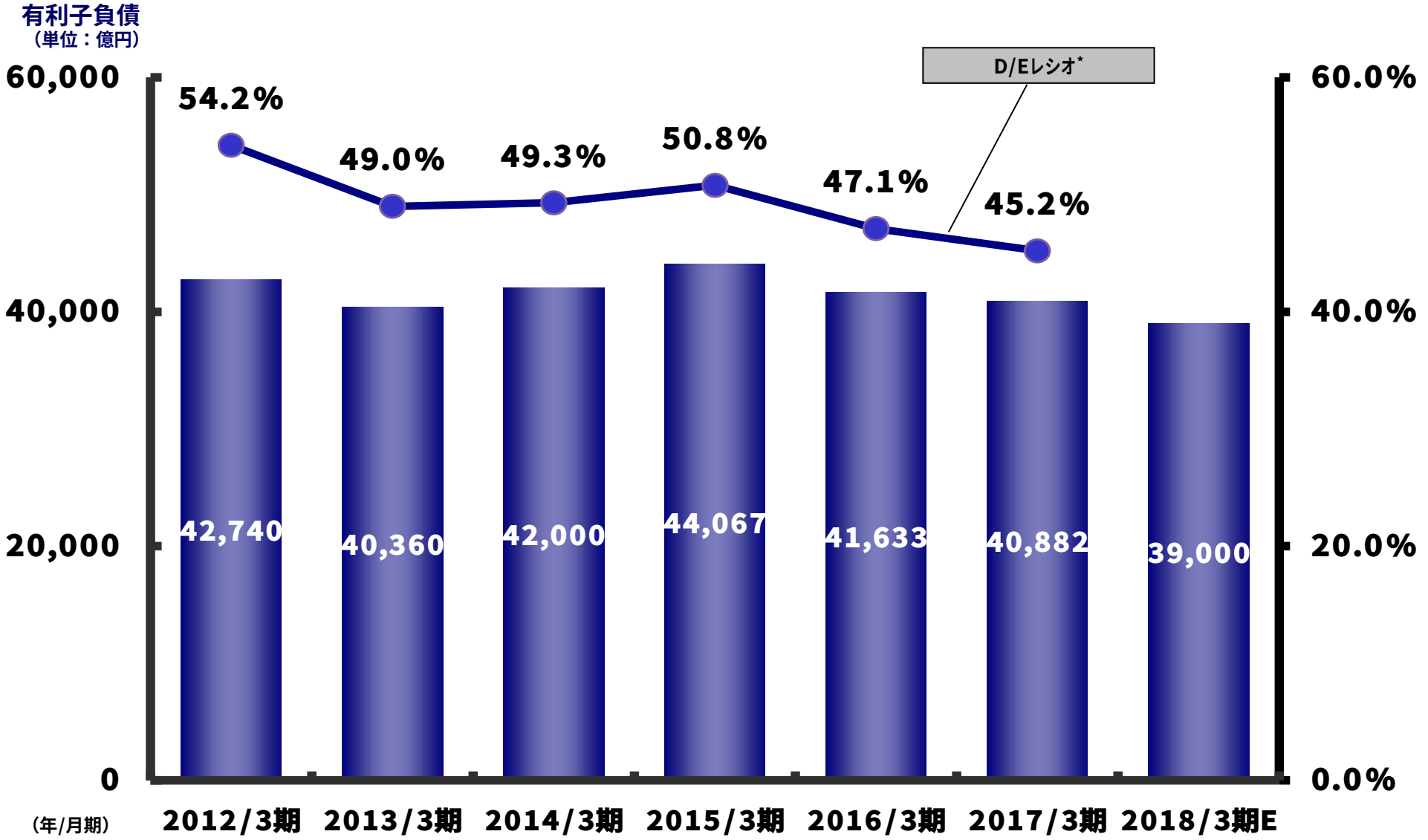
連結設備投資の推移



* 不動産及び太陽光発電事業関連の投資額を含まない場合の設備投資額は以下のとおり；
2012年3月期：19,065億円、2013年3月期：19,075億円、2014年3月期：17,957億円、2015年3月期：17,029億円、2016年3月期：16,052億円

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

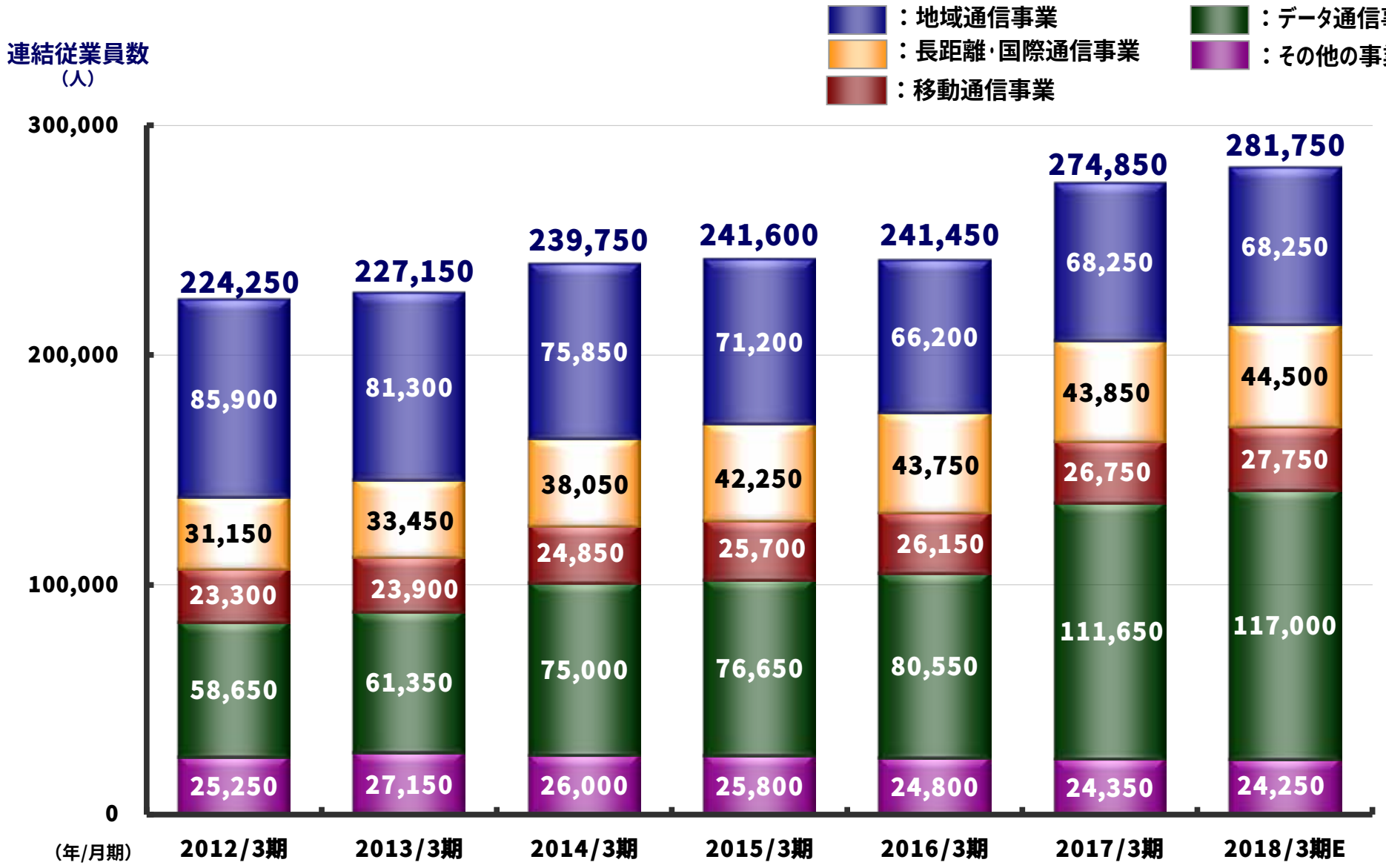
有利子負債の推移



* D/Eレシオ＝有利子負債／株主資本合計

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

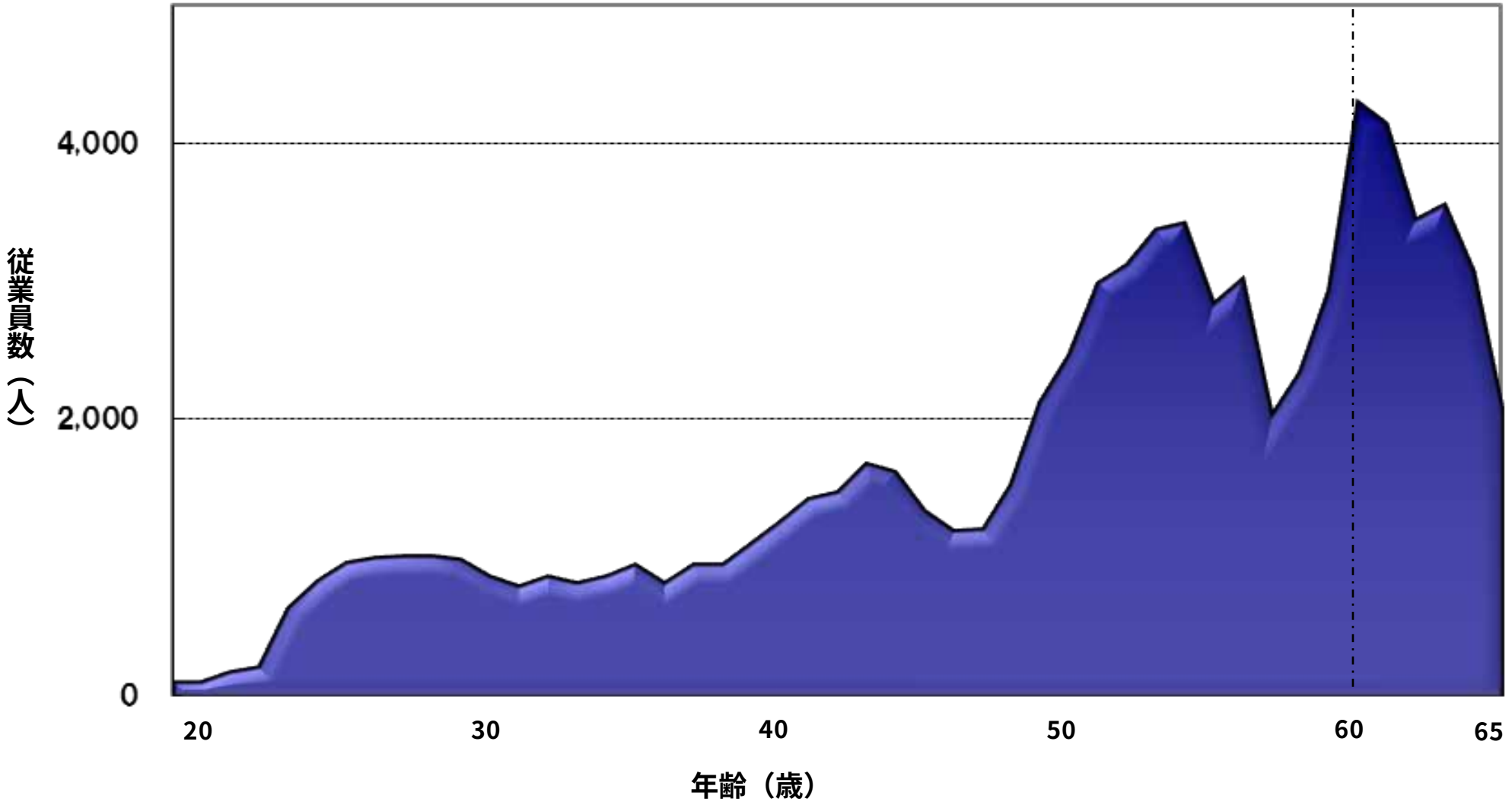
従業員数の推移



* 2017年3月期より、有期雇用から無期雇用とした社員等を従業員数に含む

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

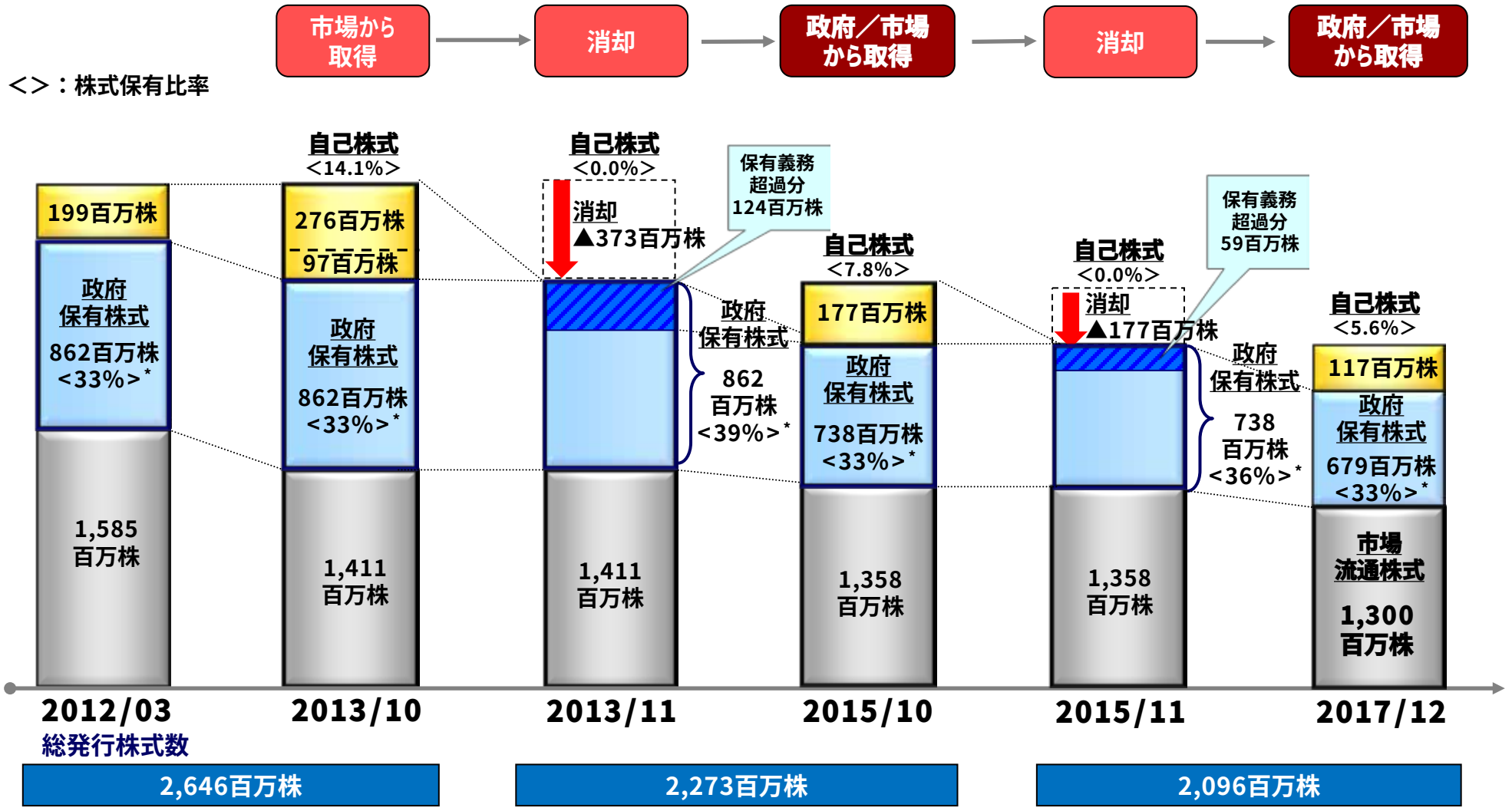
東西会社及び東西アウトソーシング（OS）会社等の年齢構成（2017年3月末時点）



* 東OS会社等の従業員数には、地域子会社（NTT東日本-南関東等）、NTT-ME及びNTT東日本サービスの人員を含む
西OS会社等の従業員数には、NTTビジネスソリューションズ、NTTマーケティングアクト、NTTネオメイト、NTTフィールドテクノ及びNTTビジネスアソシエ西日本の人員を含む
また、OS会社等従業員数には、60歳超の契約社員を含む

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

自己株式の取得及び消却の推移



株式数は、2015/7/1を効力発生日とした株式分割後（普通株式1株を2株に分割）の値に調整

* NTT法による政府の最低保有株式数＝（総発行株式数－2000年実施の公募増資分60百万株）×1/3
（算定上、増資などによる上場後の株式増加分は不算入とする（NTT法附則13条））

Copyright©2018 日本電信電話株式会社

Next Value Partner
for
Transformation
of Business models and Lifestyle
by
Trusted Solutions
of Global, Secure, End-to-end,
and Full-line ICT services